

佐賀県立九州陶磁文化館
平成20年度 年報・資料目録 No.28

Annual Report &
Catalogue of Collections No.28
The Kyushu Ceramic Museum
2008.4 ~ 2009.3

は じ め に

このたび、平成20年度の事業概要をまとめました。

昨年度は特別企画展「土の美 古唐津・肥前陶器のすべて一」の開催、古伊万里の見方シリーズ5「有田磁器の形と用途」の刊行など、九州陶磁文化館独自の企画を展開しました。

また、館蔵品によるテーマ展をはじめ、九州山口陶磁展など19の展覧会を開催して陶芸文化の向上を図りました。

教育普及活動では、生涯学習の一環として、一般の方を対象にした陶芸教室（51・52期）の開講や館蔵の名品に触れて鑑賞する陶芸文化講座などを開催しました。

この他、全国各地の機関から依頼された調査研究活動などへの協力も総力をあげて対応しました。

当館の各種事業についても、今後、一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、関係各位の御指導と御協力をお願い申し上げます。

平成21年6月30日

佐賀県立九州陶磁文化館

館長 稲 富 初 夫

目	次
---	---

はじめに	1
目次	2
館の概要	
設立の目的 活動の目的	3
沿革 施設・設備の概要	4
組織・職員等	7
佐賀県立博物館施設資料購入についての基本方針	9
佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程	10
九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領	13
事業日誌	15
展示活動	
1. 常設展	16
2. 企画展・テーマ展など	26
3. 利用状況	36
4. 館蔵資料の貸出	37
5. 資料閲覧・写真撮影・フィルム借用・印刷物等掲載・複製申請処理	37
教育普及活動	
1. 展示案内	38
2. 実技講座：陶芸教室・親子陶芸教室	40
3. 佐賀県立九州陶磁文化館・地域主催イベント	41
4. 陶芸文化講座	41
5. 博物館実習	42
6. 印刷物等の刊行	42
7. 資料鑑識	42
8. 講演など	43
調査研究活動	
1. 調査	44
2. 調査協力	44
資料収集活動	
1. 陶磁資料の収集	44
2. 図書資料の収集	44
資料目録	45

設立の目的

佐賀県立九州陶磁文化館は、肥前陶磁器をはじめ、各地域において、独自の伝統を継承発展させてきた九州の陶磁器に関し、その文化遺産の保存と陶芸文化の発展に寄与する目的で設立されました。

そのため、歴史的、美術的、産業的にみて重要な資料をあまねく収集・保存・展示し、あわせて調査研究や教育普及活動を行います。

したがって当館は、九州の陶芸文化に関する総合的施設の位置にあるばかりでなく、国際的にも注目される存在となることをめざしています。

活動の目的

・ 展示活動

展示室は5室に分かれ、そのうち固定展示室（第4展示室）においては、九州の陶磁の歴史を、実物あるいは図表・年表・写真などによって学ぶことができる仕組みになっています。柴田夫妻コレクション展示室（第5展示室）は江戸時代の有田焼を多数展示しています。他の3室では、企画展、その期間外は九州の古陶磁や現代陶芸の常設展示、あるいは随時個人もしくは団体の陶芸展を開催しています。

・ 収集活動

国の内外を問わず、九州の陶磁に関して、歴史的、系譜的に資料（陶磁器・出土資料・古文書・古記録等）の調査収集を行っています。また資料の充実を図るため、資料の購入をはじめ寄贈・寄託資料の受入れにも努力しています。

・ 調査研究活動

九州の陶芸あるいは陶磁産業を歴史的・総合的に明らかにするために、考古学・美術工芸史など色々な分野にわたる資料・文献の調査収集に努めています。また学術講演会や研究の交流を通じて研究の進展を図っています。

・ 教育普及活動

陶芸文化講座等を行って陶芸文化に対する理解を深め、さらに陶芸教室等の開催を通じて創作活動の場を提供するなど、広く陶芸文化に関する普及活動を行っています。



沿革

昭和 48・ 1・ 8	有田町長外、国際陶芸美術館建設について陳情
51・ 4	陶芸文化施設調査費を計上
52・ 4	陶芸文化施設調査費を計上
52・ 6	佐賀陶芸文化センター（仮称）建設計画案を作成
52・ 11	基本設計委託をアルセッド建築研究所と契約
52・ 11・ 24	第1回佐賀県陶芸文化センター建設委員会開催
52・ 12・ 8	佐賀県陶芸文化センター建設促進協力会設立（会長 鍋島直紹）
53・ 2・ 28	基本設計完了
53・ 3・ 29	建設費関係予算決定（約19億円）
53・ 4・ 1	専任職員3名を配置
53・ 11・ 15	建設工事入札
53・ 12・ 20	設備工事入札
53・ 12・ 27	用地譲渡契約締結（有田町より無償譲渡）
54・ 1・ 16	起工式
54・ 5・ 11	正式名称打合会（「西日本陶磁文化館」の案）
54・ 7・ 6	正式名称「佐賀県立九州陶磁文化館」 （英文名称 THE KYUSHU CERAMIC MUSEUM）と決定
54・ 10・ 3	外構・植栽工事入札
55・ 3・ 25	佐賀県立九州陶磁文化館竣工
55・ 3・ 27	佐賀県立九州陶磁文化館条例・同管理規則等を公布
55・ 11・ 1	開館
平成 元・ 6・ 12	染付白鷺図三脚皿が国重要文化財に指定
5・ 3・ 25	柴田夫妻コレクション展示室完成
5・ 4・ 29	柴田夫妻コレクション展示室が常設展の一室として開室
6・ 4・ 1	旧窯業技術センター跡地(12,011.00㎡)を当館敷地として所管換
12・ 2・ 22	玄関自動ドア設置
12・ 12・ 4	染付山水図輪花大鉢が国重要文化財に指定
12・ 12・ 28	からくり時計設置
14・ 3・ 20	来館者用トイレの改修・増設
14・ 9・ 20	重要文化財公開承認施設・承認
18・ 3・ 31	有田磁器（柴田夫妻コレクション）10,311点が国登録有形文化財（美術工芸品）に登録

施設・設備の概要

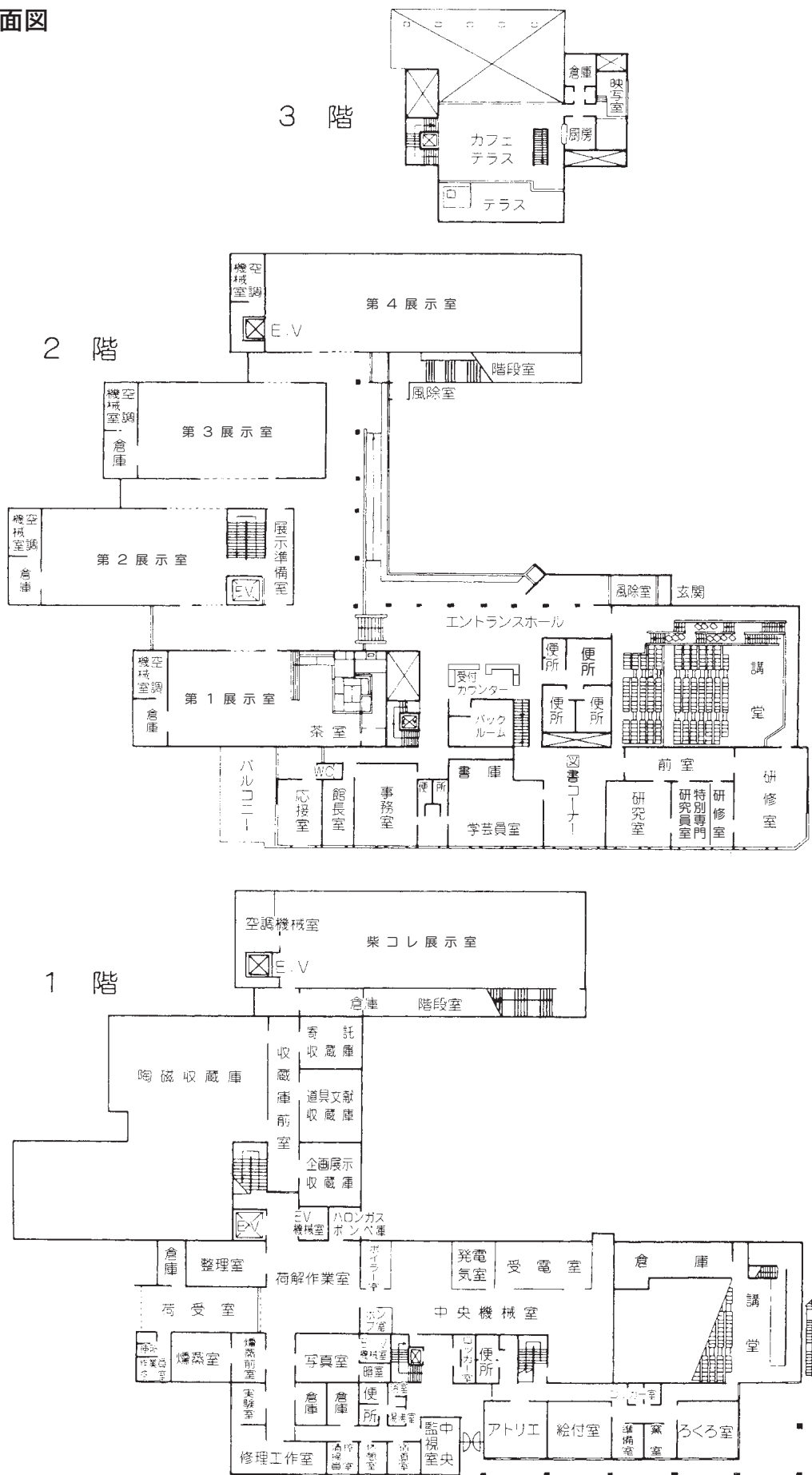
所在地	佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1
設計管理	内田祥哉＋アルセッド建築研究所
施工業者	(1)建築・外構…住友建設・松尾建設共同企業体 (2)設備工事・電気設備…新生電気・宮園電気共同企業体

	(3)空調設備…丸紅設備・昭栄設備工業共同企業体
	(4)給排水設備…葉隠設備工業(株)
	(5)植栽…中村永楽造園土木(株)
工 期	昭和54年1月16日～昭和55年3月25日
規 模	(1)敷地面積：43,619.59㎡ (2)建築面積：3,831.93㎡ (3)延床面積：6,526.54㎡ (4)構 造：鉄筋コンクリート造地上2階、一部3階建
主要設備	(1)電気設備 契約電力：320kw (6,000V受電) 発電機：80kw (220V) (2)空調設備 冷 暖 房：吸収冷温水機（能力544,320.0 kcal/h）平成6年施工 そ の 他：防排煙連動操作設備（防火シャッター、排煙ファン）等 (3)給排水設備 給水設備：町水道使用、受水槽30 t （15 t 2基） 排水設備：し尿浄化槽処理 消火設備：屋内消火槽、ハロンガス消火設備等 そ の 他：給湯設備、身障者便所等

〔単位：㎡〕

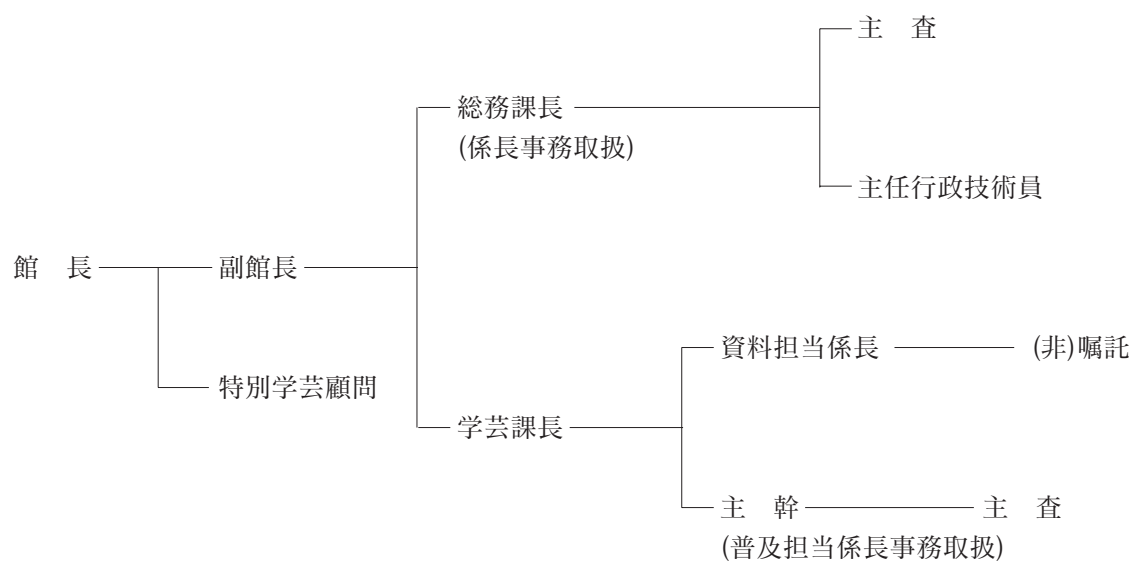
部 門	室 名	室数	面 積	部 門	室 名	室数	面 積
展示施設	第 1 展 示 室	1	279.56	研究施設	研 究 室	1	54.58
	第 2 展 示 室	1	236.95		実 験 室	1	19.21
	第 3 展 示 室	1	239.54		そ の 他	1	56.05
	第 4 展 示 室	1	396.26		小 計		129.84
	柴 コ レ 展 示 室	1	392.13	管理施設	機 械 室		355.69
	展示準備室・倉庫	1	169.70		事 務 室 等		553.99
	小 計		1,714.14		小 計		909.68
収蔵施設	陶 磁 収 蔵 庫	1	532.68	共通施設	展 示 ホ ー ル		406.73
	道具・文献収蔵庫	1	61.72		エントランスホール		284.15
	寄 託 収 蔵 庫	1	43.78		そ の 他		868.61
	企画・展示収蔵庫	1	52.44		小 計		1,559.49
	そ の 他		553.80				
	小 計		1,244.42				
研修施設	講 堂	1	385.49				
	陶 芸 実 習 室	4	122.38				
	一 般 研 修 室	2	203.76				
	図 書 コ ー ナ ー	1	102.49				
	そ の 他		154.85				
	小 計		968.97		合 計		6,526.54

施設平面図



組織・職員等

1. 組 織



2. 職 員

職 名	氏 名	分 掌 事 務
館 長	稲 富 初 夫	館の総括
特別学芸顧問(嘱託)	大 橋 康 二	特別学芸顧問
副 館 長	鈴 田 由紀夫	館の総括補佐
総務課長 (庶務係長事務取扱)	高 島 祐一郎	課の総括
主 査	多久島 澄 子	予算執行、決算、給与(等)、旅費、福利厚生、基金
〃	梅 田 恵 子	予算執行、決算、物品、財産管理、収入(図録以外)、施設
主任行政技術員	福 島 晴 人	広報、庁舎管理、文書収受、収入(図録)
学 芸 課 長	松 本 誠 一	課の総括
主 幹 (普及担当係長事務取扱)	家 田 淳 一	教育普及・展示
資料担当係長	宇 治 章	資料調査収集、展示
主 査	藤 原 友 子	教育普及・展示
嘱 託	一ノ瀬 慎 子	観覧者への説明案内、予約管理、コンピュータによる文書、情報等の処理

平成21年3月31日現在

3. 協議会委員（任期：平成19年6月23日～平成21年6月22日）

氏 名	役 職 名
稲 富 康 平	県議会議員（平成20年7月23日～平成21年6月22日）
原 田 寿 雄	県議会議員（平成19年7月23日～平成20年7月22日）
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長
岩 永 正 太	有田町長
江 藤 日出男	九州産業大学教授
尾 崎 葉 子	有田町歴史民俗資料館長
酒井田柿右衛門	有田窯業大学校校長
園 田 寛	佐賀新聞社論説委員
中 里 逢 庵	佐賀県陶芸協会顧問（平成21年3月12日逝去）
山 口 隆 敏	有田商工会議所会頭
山 崎 聡 子	淡交会佐賀支部 古伊万里青年部運営幹事
横 尾 文 子	佐賀女子短期大学教授
武 田 富美子	有田町立曲川小学校教諭
戸 高 千代香	佐賀県立有田工業高校教諭
本 村 薫 子	北方町地域婦人会役員

平成21年3月31日現在

4. 資料専門委員会

氏 名	役 職 名
酒井田柿右衛門	有田窯業大学校校長
中 里 逢 庵	佐賀県陶芸協会顧問（日展参事） 平成21年3月12日逝去
今泉 今右衛門	色鍋島今右衛門技術保存会会長
尾 崎 直 人	福岡市美術館学芸課長

平成21年3月31日現在

佐賀県立博物館施設資料購入についての基本方針

(趣 旨)

第1条 この方針は、規則その他規定に定めがあるものを除き、佐賀県立博物館・美術館、佐賀県立九州陶磁文化館、佐賀県立名護屋城博物館、佐賀県立佐賀城本丸歴史館（以下「各館」という。）の資料購入を行うための、必要な事項を定めるものとする。

(資料収集調整委員会)

第2条 各館の購入資料は、すべて佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会（以下「委員会」という。）において、決定するものとする。

(資料購入費の配分)

第3条 委員会事務局は各館の購入実績等を踏まえ、事前に資料購入費の一応の目安額となる配分額を示すものとし、その調整は委員会において行うこととする。

2 購入資料決定後、委員会事務局は、各館からの方針伺をもとに資料購入費を再配当する。

(購入資料の評価)

第4条 委員会で購入を決定した資料のうち、一件の購入金額が400万円を超えるものについては、当該資料と直接利害関係を有しない複数の学識経験者等に意見を求めるものとする。また、購入金額の如何を問わず、評価が困難なものについても同様の取扱とし、適正な評価に努めなければならない。

(購入の取りやめ)

第5条 前条の評価の結果、購入が適当でない場合や市場の変化等により購入が不可能となった場合の購入とりやめの判断は各館の館長が行うものとする。なお、その際は委員会事務局へ速やかに報告することとする。

(資料の購入先について)

第6条 資料購入先は、同一業者に偏向しないように配慮する。なお、原則として、年に1,000万円以上の取引が過去3ヶ年以上継続した業者からの購入は1年間見合わせる。

附 則

(適用期日)

1 この基本方針は平成10年4月27日から適用する。

(全部改正)

2 この基本方針は平成17年3月18日から適用する。

佐賀県立九州陶磁文化館資料取扱規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、佐賀県立九州陶磁文化館(以下「陶磁文化館」という。)が、陶磁文化館資料(佐賀県財務規則(平成4年佐賀県規則第35号。以下「財務規則」という。)第143条第2項の規定による物品分類表中博物館資料に分類される物品をいい、以下「資料」という。)の購入、寄贈、寄託、一時預り、貸出し、公開等を行なう場合における資料の管理・保管の方法について、財務規則に定めるもののほか必要な事項を定めるものとする。

(資料の分類)

第2条 資料の分類は、別表1の分類により整理するものとする。

(資料の購入)

第3条 陶磁文化館で購入する資料はすべて、佐賀県立九州陶磁文化館資料専門委員会(以下「資料専門委員会」という。)で選定し、佐賀県立博物館施設資料収集調整委員会(以下「調整委員会」という。)において決定するものとする。

2 陶磁文化館長(以下「館長」という。)は、調整委員会で購入を決定した資料のうち1件あたりの購入予定額が400万円以上のものについては、専門委員会の委員から評価調書(別記様式第1号)により意見を求めるものとする。また、資料価値の算定が困難な資料については、購入予定額の如何にかかわらず、必要に応じて学識経験者等から意見を求め、適正な評価に努めなければならない。

3 館長は前項の規定による評価の結果により購入を取りやめようとする場合または購入が不可能と判断した場合は、不購入の決定を行うものとする。この場合は調整委員会へ速やかにその旨を報告するものとする。

(資料の寄贈)

第4条 陶磁文化館に資料を寄贈しようとする者は、資料寄贈申込書(別記様式第2号)により館長に申し込まなければならない。

2 館長は、前項の規定により申し込みのあった資料について必要に応じて資料専門委員会に諮るなどの措置を講じ、陶磁文化館で所蔵することが適当と認めるものについては、寄贈資料受納調書(別記様式第3号)を作成し、受納を決定するものとする。この場合において、1件あたりの時価見積額が400万円以上のものについては、資料専門委員会の委員等による選定・評価を受けなければならない。

3 前項の規定により受納を決定した場合は、寄贈者に対し寄贈資料受納書(別記様式第4号)を送付するものとする。

(資料の寄託及び出品等)

- 第5条** 陶磁文化館に資料を寄託(1年以上の期限を定めたものに限る。)しようとする者は、資料寄託申込書(別記様式第5号)により館長に申し込まなければならない。
- 2 陶磁文化館が資料の寄託又は出品を所有者に依頼するときは、資料寄託・出品承諾書(別記様式第6号)により所有者の承諾を得なければならない。
- 3 寄託の申し込みのあった資料で館長が認めたもの又は寄託の承諾を得た資料については、寄託資料受入調書(別記様式第7号)を作成し、受入れを決定するものとする。
- 4 前項の規定により寄託の受入れを決定したときは、資料寄託契約書(別記様式第8号)により契約を締結した後、寄託資料台帳(別記様式 第9号)にその旨を登載するものとする。
- 5 展覧会への出品及び研究等のため短期間資料を預かるときは、出品者又は所有者に対して資料一時預り証(別記様式 第10号)を発行するとともに、一時預り資料台帳(別記様式第11号)にその旨を登載するものとする。ただし、企画展のための一時預りについてはこの限りではない。
- 6 埋蔵文化財(出土品)等所有権が確認できない資料について、現にその資料を管理している者から寄託及び出品の申し込みがあった場合又は同人に依頼する場合の手続については、当該管理している者を所有者とみなして前各項の規定を適用する。
- 7 佐賀県出土の埋蔵文化財のうち、国の保有する重要文化財等を1年以上継続して借用する場合は、第4項及び第5項の規定にかかわらず、国保有重要文化財等借用台帳(別記様式第12号)にその旨を登載する。

(資料の整理)

- 第6条** 第3条及び第4条の規定により受け入れた資料は、当該資料1件ごとに資料カード(別記様式第13号)を作成し、整理しなければならない。
- 2 前項の資料には、資料ラベル(別記様式第14号)を貼付し、又は紐付けをして整理しなければならない。ただし、貼付、又は紐付けすることが困難なときは、マーキングを施す等の適当な方法により整理するものとする。
- 3 前条第4項に規定する寄託資料及び前条第7項の国保有重要文化財等については、前2項の規定を適用する。この場合において、前2項に規定する様式については、すべて赤枠で表示し区別するものとする。

(資料の貸出し)

- 第7条** 資料の貸出しは、原則として行わないものとする。ただし、教育、学術及び文化に関する機関、団体等が行う展示会に貸し出す場合で、資料の保管について十分な管理体制がとられると認められるときは、業務に支障がない場合に限り、館長が貸出しを許可することができる。

- 2 前項ただし書きの規定により貸出しを受けようとする者は、資料借用申請書(別記様式第15号)又は、これに準ずる申請書を館長に提出しなければならない。この場合において、貸出しを受けようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者(第5条第6項に規定する場合は、当該資料を管理している者。第8条第2項において同じ。)の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
- 3 館長は、前項の申請により貸出しを許可したときは、資料貸出台帳(別記様式第16号)にその旨を登載し、申請者に対し資料貸出許可書(別記様式第17号)を交付するものとする。また、貸出しに際しては、借受人から借用書を提出させるものとする。
- 4 資料の貸出しを行う場合又は返納を受ける場合は、物品出納員並びに担当学芸員が立会し、受渡し又は受取りを行うものとする。この場合において、資料に破損、汚損、又は亡失があったときは、館長は借受人に対し必要な指示をするとともに損害の賠償を請求するものとする。

(資料の公開・特別利用)

- 第8条** 資料の公開は、陶磁文化館が主催して展示を行うとき又は前条の規定により貸出すとき以外には行わない。ただし、学術上の調査研究、文化振興等の目的で資料の閲覧、撮影、フィルム等画像原稿借用、印刷物・電子媒体等での画像使用、複製等(以下「特別利用」という。)を求められたときは、資料の保存及び業務に支障がない場合に限り、館長は条件を付してその利用を許可することができる。
- 2 前項ただし書きの規定により許可を得ようとする者は、資料特別利用許可申請書(別記様式第18号)又はこれに準ずる申請書を館長に提出しなければならない。この場合において、許可を得ようとする資料が寄託品、一時預り資料又は国保有重要文化財等であるときは、所有者の承諾書又はその写しを添付しなければならない。
 - 3 館長は、前項の申請により特別利用を許可したときは、資料特別利用許可簿(別記様式第19号)にその旨を登載し、当該申請者に資料特別利用許可書(別記様式第20号)を交付するものとする。
 - 4 資料の閲覧、撮影等実物の取扱を伴う特別利用は、担当学芸員の立会いのもとで行い、その指示に従わなければならない。
 - 5 印刷物掲載等の画像使用を行った場合は、利用後速やかに成果品を館長に提出しなければならない。電子媒体による出版又は放送等で映像を使用した場合もこれに準ずる。

附 則

この規程は、平成18年11月1日から施行する。

九州陶磁文化館施設等の使用に関する取扱要領

(趣 旨)

第1条 この要領は、佐賀県立九州陶磁文化館の管理に関する規則（昭和55年佐賀県教育委員会規則第5号）第14条の規定に基づき、佐賀県立九州陶磁文化館の施設及び附属設備（以下「施設等」という。）の使用に関し、必要な事項を定めるものとする。

(使用の申込み)

第2条 九州陶磁文化館の施設等の使用をしようとする者は、使用日の1月前までに、九州陶磁文化館施設等使用申込書（以下「申込書」という。）（様式第1号）を館長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、館長が特に認めた場合は、申込期限を経過しても申込書を提出することができる。

(使用の承認等)

第3条 館長は、申込書を提出した者に対し、施設等の使用を認める場合は、九州陶磁文化館使用承認書（様式第2号）を交付するものとする。

2 館長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用を承認しないものとする。

- 一 営利を主たる目的とするとき。
- 二 館内の秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 館の資料及び施設等を損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- 四 集団的又は常習的に暴力的行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- 五 その他管理上支障があると認められるとき。

(使用目的の変更等の禁止)

第4条 前条第1項の規定により使用の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用目的を変更し、又は使用の権利を譲渡し、若しくは他に転貸することができない。

(使用者の義務)

第5条 使用者は、使用に当たり次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- 一 定員を超えて入場させないこと。
- 二 使用目的以外の物品の販売若しくは陳列又は公告物の掲示若しくは配布をしないこと。
- 三 館の資料及び施設等を毀損しないこと。
- 四 その他館長の指示に従うこと。

(使用承認の取消し等)

第6条 館長は、使用者が次の各号のいずれかに該当する場合は、使用の承認を取り消し、又は使用の中止を命ずることができる。

- 一 申込書の内容に偽りがあった場合
- 二 その使用が第3条第2項各号のいずれかに該当することが明らかとなった場合
- 三 前二条の規定に違反した場合

2 前項の規定により使用の承認を取り消され、又は使用の中止を命ぜられたことにより使用者に損害を生ずることがあっても、これに対する補償は行わないものとする。

(弁 償)

第7条 使用者は、施設等の使用において資料又は施設等を亡失し、破損し、又は汚損したときは、館長の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

2 使用者は、使用目的である講演、会議、交流会その他の会合に参加している者が前項に掲げる行為を行った場合についても、館長の指示に従い、現品又は相当の対価をもって弁償しなければならない。

(光熱水費の負担)

第8条 館長は、使用者が使用に際して相当の電気又は水道等の使用を伴う場合は、当該使用の目的及び使用実態等を勘案して、当該使用者に対して相当の光熱水費の負担を求めるものとする。

2 使用者は、前項の規定により、館長から光熱水費の負担を求められた場合は、指示された期限までに納入しなければならない。

(収益等を伴う場合の取扱い)

第9条 施設等を使用する際に、収益を伴う使用及び観覧料等を徴する使用の場合については、この要領にかかわらず佐賀県公有財産規則（昭和40年佐賀県規則第6号）第19条及び第20条の規定に基づき処理するものとする。

附 則

この要領は、平成20年11月1日から施行する。

様式第1号 九州陶磁文化館施設等使用申込書 （略）

様式第2号 九州陶磁文化館使用承認書 （略）

事業日誌

- 平成20・ 4・29 第105回 九州山口陶磁展（～5・10） （第1部美術工芸品・オブジェの部）
- 5・17 第51期 陶芸教室・第11期 ボランティア養成講座開講（～7・19）
- 5・28 第26回 新工芸西九州工芸展（～6・8）
- 6・10 「第17回 陶千坊展」（～6・15）
- 6・20 年報・資料目録（平成19年度 No.27）刊行
- 6・22 「第23回 現代工芸九州会展」（～6・29）
- 7・13 親子陶芸教室 1回目
- 7・ 1 「新収蔵品展」（～7・21）
- 7・23 テーマ展1 「夏休み特別企画 やきもののかたち-人と動物-」（～8・31）
- 7・28 平成20年度博物館実習（～8・8）
- 8・ 3 親子陶芸教室 2回目
- 8・17 親子陶芸教室 3回目
- 9・ 6 「第7回 伊万里・有田焼伝統工芸士展」（～9・21）
- 9・27 「特別企画展 古唐津一肥前陶器のすべて-」（～11・9）
- 10・ 6 九州陶磁文化館協議会(第1回)
- 11・14 テーマ展2 「茶の湯名碗30選」（～11・30）
- 12・ 9 「第1回究陶会展」（～12.14）
- 12・19 「新春展 宴のうつわ」（～1.12）
- 平成21・ 1・ 6 「故青木龍山作品特別展示」（～2.1）
- 1・20 「第40回 有田工業高等学校卒業制作展」（～1・25）
- 1・27 「第27回 西松浦郡小・中学校学童美術展」（～2・1）
- 2・ 3 第5回 「有田雛のやきものまつり」との共催企画「やきものとひなまつり」（～3・22）
- 2・ 3 テーマ展3 「古伊万里の見方シリーズ5 有田磁器の形と用途展」（～2・15）
- 2・17 九州陶磁文化館協議会(第2回)
- 2・24 「第20回 九州陶磁器デザイナー協会展」（～3・1）
- 2・28 平成20年度 第1回～第2回 陶芸文化講座（午前・午後）
- 3・ 3 「第23回 有田窯業大学校卒業制作展」（～3・8）
- 3・17 「第24回 有田陶交会展」（～3・22）
- 3・25 「第70回一水会陶芸部創立50周年記念展」（～4・5）
- 3・31 セラミック九州No.45刊行

展 示 活 動

1. 常設展について

当館の常設展は4つの展示室からなり、九州陶磁の歴史と特色が、順を追って把握できるように構成されています。

展示室は5室あります。

順路は第4展示室（固定展示室）から始まり、第5展示室（柴田夫妻コレクション）、第3展示室（九州の古陶磁）を経由して第2展示室（現代の九州陶芸）で終わります。第1展示室は個展やグループ展、あるいは小規模な企画展が開かれるため通常は茶室だけを御覧いただけます。

内容的には固定展示室（第4展示室）が九州の陶磁の基礎的学習、九州の古陶磁（第3展示室）鑑賞、九州の現代陶芸（第2展示室）鑑賞、江戸時代の有田磁器を展示した柴田夫妻コレクション（第5展示室）というそれぞれの特色があります。

これらの展示は、平成20年12月末に展示内容を一新しました。

大規模な企画展が開かれる場合は、固定展示室、柴田夫妻コレクション展示室を除いて他の2室は一時的に撤収されることがあります。

会 期 平成 20年4月1日～平成21年3月31日
休館日の月曜日と年末の休館日
(12/29～12/31) を除く

展示室 第2展示室、第3展示室及び展示ホール
第4展示室（固定展示室）
第5展示室（柴田夫妻コレクション展示室）

入館者 62,755人 1日平均195人（322日）



第4展示室

（1）固定展示室（第4展示室）

この展示室では、やきものについての基礎的な知識をはじめ、中国・朝鮮国の強い影響のもと、日本の、とりわけ九州の陶磁器がどのように発展してきたか、古代・中世から近世・近代までの流れを紹介しています。特に、肥前で生産された磁器については、その生産の技術や国内での流通及び海外との貿易についても説明しています。また、陶器や磁器の具体的な製作工程や装飾技法についても学ぶことができます。

展示内容を詳しく解説した冊子「土と炎」を御利用ください。

なお、蒲原コレクションの輸出伊万里101点は、この展示室で御覧になれます。

【展示内容】

1. やきものの基礎知識
2. 中国・朝鮮の陶磁の流れ
3. 日本の陶磁の流れ
4. 九州陶磁の展開（マルチスクリーン）
5. 九州の陶器
6. 磁器の始まり
7. 有田・大川内山の登窯
8. 窯跡復元模型
9. 九州の磁器
10. 古伊万里とオランダ貿易
11. ヨーロッパの古伊万里
12. 蒲原コレクション
13. 近代の九州陶磁
14. 装飾技法
15. 陶片にみる肥前のやきもの
16. 陶器と磁器の制作工程

（2）柴田夫妻コレクションの展示（第5展示室）

柴田明彦・祐子夫妻から、平成2年より15年にかけて寄贈していただき、国の登録有形文化財に登録された江戸時代の有田磁器約10,000点余の中から538件1,204点を常設展示しています。

このコレクションの特徴は、有田磁器の歴史の変遷がわかるように各時代の様々な種類の作品が網羅されている点にあります。

この展示室では次のようなテーマを設けて、有田磁器の様式の特徴、技術の変化、器種別の変遷などを紹介しています。



年代のコーナー

（3）九州の古陶磁（第3展示室）

常設展「九州の古陶磁」は、肥前・佐賀と、長崎・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄の九州各県に分かれ、江戸時代のやきものを紹介しています。

唐津焼の陶器に始まる肥前のやきものは、日本初の磁器を産み出した後、その発展にともない初期伊万里、柿右衛門様式、鍋島藩窯様式など様々な陶磁器を産み出してきました。

また、九州各県に点在する茶陶の名窯や日常生活の中で愛された民窯では、地域色豊かな陶器や磁器が焼かれています。

館蔵品を中心にした展示総数は140件189点寄託品など8件16点を含んでいます。

【展示内容】

佐 賀

1. 肥前・唐津焼
2. 初期伊万里様式
3. 古伊万里 正保・承応様式
4. 古伊万里 寛文様式
5. 古伊万里 元禄・延宝様式と柿右衛門様式
6. 古伊万里 元禄・宝暦様式および輸出向け古伊万里
7. 古伊万里 天明・文政様式
8. 鍋島藩窯様式

●コーナー

- 1 年代による変遷
- 2 名前のつけ方
- 3 磁器の種類
- 4 江戸時代の食膳
- 5 器を現代に生かす
- 6 植物の文様と形
- 7 動物の文様と形
- 8 器物の文様と形
- 9 出土陶片との比較



器を現代に生かす

九 州

9. 長崎の陶磁器
10. 熊本の陶磁器
11. 福岡の陶磁器
12. 大分・宮崎の陶磁器
13. 鹿児島の陶磁器
14. 沖縄の陶磁器

〈構成〉

佐 賀

【66件74点】

- 1 肥前・唐津焼 19件31点
- 2 初期伊万里様式 6件10点
- 3 古伊万里 正保・承応様式 5件 9点
- 4 古伊万里 寛文様式 8件 8点
- 5 古伊万里 延宝様式と柿右衛門様式 10件10点
- 6 古伊万里 元禄・宝暦様式および輸出向け古伊万里 10件11点
- 7 古伊万里 天明・文政様式 7件10点
- 8 鍋島藩窯様式 13件21点

九 州

【62件79点】

- 9 長崎の陶磁器 17件34点
- 10 福岡の陶磁器 9件 9点
- 11 熊本の陶磁器 7件 7点
- 12 大分・宮崎の陶磁器 4件 4点
- 13 鹿児島の陶磁器 13件13点
- 14 沖縄の陶磁器 12件12点

【九州の古陶磁 展示品目録】

No.	資 料 名	生 産 地	点数	年 代	口径/径	高さ/総高	底径
【肥前・唐津焼】							
1	灰釉彫文茶碗 銘「玄海」	肥前 飯洞甕下窯 佐賀県重要文化財(工芸品)	1	1580～1600年代	14.2	10.1	7.4
2	灰釉茶碗(奥高麗) 銘「瑞雲」	肥前	1	1590～1610年代	14.5	7.7	5.4
3	鉄絵蒲公英文鉢 (絵唐津)	肥前	1	1590～1610年代	17.2	9.2	7.3
4	褐釉耳付水指 銘「柴の庵」	肥前 松浦系	1	1590～1610年代	11.1/15.1(胴)	17.8	17.2
5	灰釉鉄釉振掛茶碗	肥前	1	1600～30年代	10.4	8.0	5.3
6	褐釉白釉打掛三耳付壺	肥前 藤の川内窯	1	1590～1610年代	9.6/22.1(胴)	27.3	12.3
7	緑釉牡丹唐草文耳付壺	肥前 小田志窯	1	1650～80年代	13.8/31.2(胴)	35.2	13.0
8	打刷毛目文広口花瓶	肥前	1	17世紀末～18世紀前半	26.4	26.3	11.5
9	白盛三階菱文大皿(献上唐津)	肥前	1	18世紀後半～幕末	41.4	7.2	19.8
10	兎形火入	肥前 松浦系 (椎ノ峰窯)	1	18世紀後半～19世紀前半	10.8/21.6(胴)	17.8	17.8 (16.1)
11	呉須絵根曳松文風炉(献上唐津)	肥前	1	18世紀末～19世紀中葉	25.0/33.5(胴)	21.2	16.0
【初期伊万里】							
12	染付牛人物文水指	肥前・有田窯	1	1610～30年代	9.8/17.9(胴)	16.9	9.7
13	染付福字文三脚付香立	肥前・有田窯	1	1620～40年代	11.1/13.9×13.3(胴)	9.7	10.6
14	染付山水文大皿	肥前・有田窯 山辺田窯	1	1630～40年代	44.2	12.4	13.0
15	銕釉染付独楽文觚形瓶	肥前・有田窯	1	1630～40年代	3.1/19.2	29.2	10.2
16	染付山水文瓶	肥前・有田窯	1	1630～40年代	4.8/19.2(胴)	33.4	13.5
【古伊万里 正保・承応様式】							
17	色絵松竹鶴文壺	肥前・有田窯	1	1650～60年代	11.1/19.4(胴)	24.9	8.9
18	色絵竹虎文大皿 (青手)	肥前・有田窯 佐賀県重要文化財(工芸品)	1	1650～60年代	31.5	7.2	16.5
19	色絵山水文大皿 (青手)	肥前・有田窯	1	1650～60年代	43.9×42.6	8.5	20.4
20	色絵菊龍文鉢	肥前・有田窯	1	1655～60年代	22.1×20.4	10.5	8.2
21	銕釉染付梅樹文皿	肥前・有田窯	1	1650～70年代	14.3	2.4	9.0
22	染付栗文変形皿	肥前・有田窯	1	「承応貳歳」銘 (1653)	17.7×11.9	2.9	10.9×5.7
【古伊万里 寛文様式】							
23	染付竹虎文大皿	肥前・有田窯	1	1650～60年代	58.5	14.6	27.4
24	色絵梅花散文手付水注	肥前・有田窯	1	1650～60年代	5.2/10.4(胴)	21.3	7.2
25	色絵桜花文壺	肥前・有田窯	1	1650～70年代	12.3/24.8(胴)	29.8	12.8
26	色絵金銀彩山水文四方蓋物	肥前・有田窯	1	1650～70年代	22.1×21.8(蓋径) 6.2/8.1(総高)		21.0×21.2
27	青磁七宝透文広口瓶	肥前・有田窯	1	1660～90年代	22.9	27.3	13.5
28	染付唐獅子牡丹文菱形皿	肥前・有田窯 南川原山	1	1660～70年代	25.6×22.3	5.4	18.6×15.5
29	染付山水文瓶	肥前・有田窯	1	1660～80年代	4.5/18.2(胴)	38.4	12.6
【古伊万里 延宝様式と柿右衛門様式】							
30	染付花鳥人物文変形皿	肥前・有田窯	1	1670～90年代	26.2×19.2	5.5	17.9×11.5
31	染付龍鳳凰文釣鐘形水指	肥前・有田窯 南川原山	1	1670～90年代	9.5	15.6/21.0(蓋)	20.5
32	染付松竹梅文燭台	肥前・有田窯 南川原山	2	1670～90年代	1.7	54.2	9.1木製台座



1. 灰釉彫文茶碗 銘「玄海」肥前 飯洞甕下窯
佐賀県重要文化財 1580～1600年代 個人蔵



14. 染付山水文大皿
肥前・有田窯 山辺田窯 1630～40年代

No.	資 料 名	生 産 地	点数	年 代	口径/径	高さ/総高	底径	
33	色絵三果文皿	肥前・有田窯	南川原山	1	1670～90年代	21.0	4.2	14.2
34	色絵草花鶴文輪花皿	肥前・有田窯		1	1670～80年代	25.0	3.8	15.2
35	色絵龍虎文輪花皿	肥前・有田窯	南川原山	1	1670～90年代	23.6	4.7	14.3
36	色絵瓢箪鯉童子置物	肥前・有田窯		1	1670～1700年代	25.5×16.2(径)	26.4	13.3×6.3
37	色絵婦人像	肥前・有田窯		1	1670～90年代	13.4×11.2(径)	38.9	11.2×10.5
38	色絵仔犬置物	肥前・有田窯		1	1670～1710年代	24.8×14.4(胴)	20.1	-
【古伊万里 元禄・宝暦様式および輸出向け古伊万里】								
39	色絵牡丹唐草文蓋付鉢	肥前・有田窯		1	元禄八年（1695）	15.1	7.2/10.2(蓋)	6.0
40	色絵琴高仙人文鉢	肥前・有田窯		1	1690～1720年代	22.8	9.5	11.5
41	色絵桃栴檀文手付香炉	肥前・有田窯		1	1690～1720年代	9.5/12.7(胴)	14.1/19.8(蓋)	11.2
42	色絵枝垂桜菊垣文婦人像	肥前・有田窯		1	1700～50年代	16.7×15.3(胴)	45.0	14.1×13.2
43	色絵狛犬	肥前・有田窯		2	1680～1700年代	阿形40.4(胴)/ 呷形37.6(胴)	阿形48.2/ 呷形46.5	阿形21.0/ 呷形21.0
44	染付芙蓉手鳳凰文大皿：V O C 銘	肥前・有田窯		1	1690～1710年代	36.2	5.2	17.7
45	色絵雲龍文大皿（低火度焼成）	肥前・有田窯		1	1700～40年代	32.7	6.6	18.3
46	色絵御所車婦人文髭皿	肥前・有田窯		1	1700～40年代	27.2	6.6	13.0
47	染付高蒔絵牡丹唐獅子文大壺・広口大瓶	肥前・有田窯		3	1700～40年代	壺20.1/43.0(胴)／ 瓶29.5	壺/87.4(蓋)／ 瓶59.8	壺20.8／ 瓶14.7
【古伊万里 天明・文政様式】								
48	色絵亀甲松竹梅文大皿	肥前・有田窯		1	1780～1800年代	33.4	5.4	18.7
49	色絵祥瑞草花文楕円皿	肥前・有田窯		1	1780～1800年代	28.0×19.3	2.2	27.4×18.9
50	染付九州地図舟形皿	肥前・有田窯		1	1820～50年代	33.6×21.8	8.7	23.0×17.5
51	染付富士松原文輪花大皿	肥前・志田窯		1	1820～60年代	31.9	5.8	17.6
52	色絵富士鷹茄子文角皿	肥前・有田窯		1	1840～60年代	28.0×23.5	4.4	17.3×17.0
52	色絵玉取獅子牡丹文角皿	肥前・有田窯		1	1840～60年代	23.5×28.1	5.1	17.6×17.8
53	染付鯉文桶形水盤	肥前・有田窯	梶原菊三郎	1	幕末	43.4	8.9	38.5
【鍋島藩窯様式】								
54	色絵唐花文変形皿	肥前・有田	岩谷川内藩窯	1	1650～60年代	16.2×12.7	2.7	9.0×6.4
55	色絵唐花文変形皿	肥前・鍋島藩窯	日峯社下窯	1	1660～80年代	16.9×14.0	3.4	9.6×7.7
56	染付秋草文稜花形皿	肥前・鍋島藩窯		1	1680～90年代	17.0×13.6	4.3	9.9×7.0
57	色絵三瓢文皿	肥前・鍋島藩窯		1	1690～1720年代	20.5	5.7	10.4
58	青磁染付寿字桃宝尽文雲形大皿	肥前・鍋島藩窯		1	1690～1730年代	31.4×29.9	4.9	17.7
59	青磁染付桃文皿	肥前・鍋島藩窯		1	1690～1730年代	14.7	3.7	7.4
60	青磁染付桃文皿	肥前・鍋島藩窯		1	1690～1730年代	15.0	4.3	7.7
61	色絵青海波水仙文皿	肥前・鍋島藩窯		5	1700～20年代	14.7	4.1	7.8
62	色絵椿文皿	肥前・鍋島藩窯		1	1700～20年代	20.2	5.9	11.0
63	染付竹文大皿	肥前・鍋島藩窯		1	1700～30年代	32.1	8.8	16.2
64	染付松竹梅文大皿	肥前・鍋島藩窯		1	1770～90年代	34.8	10.1	17.4
65	染付雪景色文皿	肥前・鍋島藩窯		1	1790～1810年代	20.9	5.7	11.3
66	染付鷺文三脚付皿	肥前・鍋島藩窯 重要無形文化財		1	1690～1710年代	28.0	8.5	17.5



40. 色絵琴高仙人文鉢 肥前・有田窯
1690～1720年代



57. 色絵三瓢文皿 肥前・鍋島藩窯
1690～1720年代

No.	資 料 名	生 産 地	点数	年 代	口径/径	高さ/総高	底径
【長崎の陶磁器】							
67	三彩釉蓋付碗	肥前・長与窯	10	1790～1820年代	10.9	7.2/10.1(蓋)	4.7
68	青磁染付菊流水文三脚付皿	肥前・波佐見窯 長田山窯	1	1680～1700年代	29.7	7.3	10.1
69	飴釉飛鉋文茶壺	肥前・波佐見窯 白岳窯	1	18世紀末～19世紀	4.5/11.3(胴)	/16.9(蓋)	6.6
70	刷毛目梅花文長皿	肥前・現川窯	1	1690～1740年代	20.6×16.0	4.6	7.9
71	刷毛目薄文四方手塩皿	肥前・現川窯	5	1690～1740年代	10.9	5.0	4.6
72	染付蒲公英文蓋付碗	肥前・三川内窯	10	1730～80年代	10.6	5.7/7.5(蓋)	4.3
73	染付菊花蝶文蓋付細首瓶	肥前・三川内窯	2	18世紀後半～19世紀初	2.3/15.1(胴)	22.9/23.5(蓋)	9.0
74	染付山水文平茶碗	肥前・亀山窯	1	1800～60年代	14.4	5.8	5.0
75	染付唐花唐草文段重	肥前・亀山窯	1	1820～60年代	18.0/18.2(胴)	13.8(総高)	8.3
76	呉須絵芭蕉文小皿 (蘇州手)	肥前・亀山窯	5	(19世紀前半)～19世紀中葉	11.7	2.3	5.6
【福岡の陶磁器】							
77	藁灰釉筒茶碗	豊前・上野窯 釜ノ口窯	1	1600～30年代	8.9	10.5	5.9
78	鉄絵筒茶碗	豊前・上野窯 釜ノ口窯	1	1600～30年代	10.3	9.3	6.3
79	三彩茶碗	豊前・上野窯 上野皿山本窯	1	18世紀	12.5	7.8	6.8
80	刷毛目波文小瓶	豊前・上野窯	1	18世紀末～19世紀中葉	3.7/11.1(胴)	17.1	8.1
81	藁灰釉茶碗 銘「玄峯」	筑前・高取窯 内ヶ磯窯	1	1610～20年代	13.2	10.0	6.9
82	掛分釉結文形向付	筑前・高取窯 内ヶ磯窯	5	17世紀前半	19.0×10.4	2.7	16.7×9.0
83	褐釉肩衝茶入	筑前・高取窯 白旗山窯	1	17世紀前半	2.9/5.2(胴)	8.7	3.4
84	鉄釉黄灰釉流水指	筑前・高取窯 白旗山窯か	1	17世紀前半	14.2/18.3(胴)	13.5	10.9
85	三彩耳付水指	筑前・高取窯	1	17世紀前半	21.0/18.6(胴)	17.3	11.4
86	染付馬文菱形水指	筑前・須恵窯	1	18世紀後半～19世紀初	19.6×16.5	15.3	19.5×16.8
【熊本の陶磁器】							
87	象嵌明和・喜楽銘茶碗	肥後・八代窯 平山窯 喜楽	1	明和2年(1765)	11.4/11.4(胴)	8.4	4.9
88	象嵌竹文平水指	肥後・八代窯	1	18世紀後半～19世紀	24.9/24.9(胴)	10.1	20.0
89	刷毛目文長皿	肥後・八代窯	10	19世紀か	20.4×12.8	4.8	7.8
90	流掛釉俵壺	肥後・小代窯	1	17～18世紀	4.0/24.1×17.6(胴)	19.9	14.7×11.4(脚間)
91	灰釉簾文水指	肥後・小代窯 牝小路窯	1	18世紀末～19世紀前半	16.3/17.0(胴)	14.8	13.0
92	黄灰釉藁灰釉流皿	肥後・小代窯	1	19世紀	27.3	4.2	15.6
93	染付吉祥文小碗	肥後・天草 高浜窯	10	19世紀前半	7.9	4.1	3.8
94	染付梅花水裂文壺	肥後・天草 高浜窯	1	19世紀前半	6.0/11.2(胴)	11.9/15.5(蓋)	5.4
【大分・宮崎の陶磁器】							
95	呉須絵龍文耳付仏花器	日向・蓬來山窯 (丸山窯)	1	19世紀中葉	6.9/9.5(胴)	15.5	6.4
96	流し掛釉蓋付壺	豊後・小鹿田窯	1	19～20世紀	15.2/22.8(胴)	/27.0(蓋)	12.5
97	刷毛目飴釉蓋付壺	豊後・小鹿田窯	1	19～20世紀	15.2/22.5(胴)	/35.4(蓋)	平底13.6



69. 飴釉飛鉋文茶壺 肥前・波佐見窯 白岳窯
18世紀末～19世紀



78. 鉄絵筒茶碗 豊前・上野窯 釜ノ口窯
1600～30年代

No.	資 料 名	生 産 地	点数	年 代	口径/径	高さ/総高	底径
【鹿児島県の陶磁器】							
98	灰釉茄子形茶入	薩摩・堅野窯系	1	17世紀前半	2.6/7.0(胴)	6.8	3.4
99	褐釉肩衝茶入	薩摩・堅野窯系	1	17～18世紀	3.3/6.6(胴)	12.4	5.2
100	鉄釉水指	薩摩・堅野窯系	1	17～18世紀	13.9	15.2	12.0
101	黒釉龍文甕	薩摩・苗代川窯	1	17世紀後半～18世紀	26.8/35.3(胴)	30.3	17.0
102	鉄絵幾何文耳付瓶(宋胡録手)	薩摩・苗代川窯	1	19世紀	11.0/19.4(胴)	38.9	13.2
103	象嵌簾文水注 (三島手)	薩摩・龍門司窯	1	18世紀後半～19世紀	9.5/15.6(胴)15.6/18.4(蓋)	8.2	
104	黒釉藁灰釉流し瓢形瓶	薩摩・龍門司窯 川原芳光作	1	19世紀後半	3.8/19.2(胴)	36.6	9.2
105	色絵金彩菊牡丹文香炉	薩摩・堅野窯系	1	19世紀末	7.8/16.1(胴)	10.6	9.3
106	染付桜花文瓶	薩摩・平佐窯	1	弘化4年(1847)	4.2/14.0(胴)	20.6	8.6
107	染付富士鯉文輪花皿	薩摩・平佐窯	1	19世紀	21.1	3.2 10.8/内径10.4	
【沖縄県の陶磁器】							
108	宮古式土器壺	琉球・宮古島	1	13～16世紀	13.5/25.2(胴)	18.5	11.2
109	鉄絵草文碗	琉球・湧田窯	1	17世紀後半～18世紀前半	12.9	6.1	6.6
110	灰釉碗	琉球・壺屋窯	1	18世紀前半	13.0	6.5	6.6
111	色絵巴紋碗	琉球・壺屋窯	1	19世紀前半	14.1	7.1	6.5
112	灰釉鉄絵皿	琉球・壺屋窯	1	18世紀後半	12.5	3.7	6.4
113	緑釉鉄絵輪花皿	琉球・壺屋窯	1	19世紀	13.5	4.3	6.4
114	呉須絵花文皿	琉球・壺屋窯	1	19世紀	12.9	4.6	6.2
115	褐釉台付瓶	琉球・壺屋窯	1	18世紀前半	5.3	20.3	9.1
116	褐釉油甕	琉球・壺屋窯	1	18世紀後半	9.0/12.9(胴)	14.9	8.0
117	褐釉緑釉掛分筒花生	琉球・壺屋窯	1	18世紀中葉～後半	11.2/12.2(胴)	24.8	10.8
118	鉄釉掛分輪繫文渡名喜瓶	琉球・壺屋窯	1	18世紀後半～19世紀前半	3.2/9.3(胴)	19.7	7.0
119	呉須絵線彫蓮花文瓶	琉球・壺屋窯	1	19世紀	3.0	25.0	8.5
120	褐釉御殿形蔵骨器 (厨子甕)	琉球・壺屋窯	1	18世紀後半	59.2×44.8(径)44.8/83.3(蓋)		—
【特別展示 「旧高取邸を飾ったやきもの」より】							
121	青磁獅子置物	肥前・鍋島藩窯	1	18世紀	24.0×16.9(胴)	21.1	—
122	白磁玉取獅子置物	肥前・鍋島藩窯	1	18世紀か	22.4×13.2(胴)	20.2	19.3×11.9
123	褐釉母子猿置物	肥前・唐津焼 中里天祐 (1854～1924)	1	明治後期～大正	—	36.3	26.6×20.7
124	白磁象置物	肥前・三川内窯	1	19世紀後半	21.1×19.0(胴)	12.0	—
125	白磁銹釉布袋像	肥前・三川内窯	1	19世紀後半	23.0×20.9(胴)	20.9	21.5×19.7
126	色絵婦人文羽子板形硯	京都・京焼	1	1690～18世紀前半	13.0×5.2(径)1.8/3.5(蓋)	12.9×5.0	
127	色絵笛吹童子牛香炉	京都・京焼 野々村清兵衛	1	19世紀	23.2×14.4(胴)	14.8	20.3×12.4
128	青磁唐花文三足盤	中国・龍泉窯	1	14世紀	27.6	8.5	22.6
129	色絵唐人物文大皿	中国・景德鎮窯	1	1630～40年代	31.1	5.8	16.3
130	藍彩人物文徳利(銅版転写)	オランダ・マーストリヒト ベトゥルス・レグウート窯	3	19世紀中葉	3.7×3.7/7.1(胴)	16.4	5.1
131	紅彩人物犬文小坏(銅版転写)	オランダ・マーストリヒト ベトゥルス・レグウート窯	5	19世紀後半	5.7	3.5	2.6

※52は展示替えをしました



98. 灰釉茄子形茶入 薩摩・堅野窯系
17世紀前半



118. 鉄釉掛分輪繫文渡名喜瓶 琉球・壺屋窯
18世紀後半～19世紀前半

(4) 現代の九州陶芸（第2展示室）

歴史的に多様な展開がみられる九州の陶芸は、それぞれ茶陶として、また商品性の高い美術工芸品として、あるいは民陶として今日に受け継がれています。

こうしたなかで、創作的な活動が続けている陶芸作家を選び、その代表作を一堂に紹介したのが第2展示室の「現代の九州陶芸」です。

現在、九州・6県の110名による作品を展示しています。県別では佐賀県が最も多く、次いで福岡県、鹿児島県の順となります。

展示室では、日本工芸会に所属している作家作品、さらに日展系・民陶系などの作家作品を御覧になれます。最後に水指・茶入など茶道具関連の作品を鑑賞できます。なお、芸術院会員や重要無形文化財保持者の作品は展示室エントランス(有田焼からくりオルゴール時計横)に展示しています。

伝統的な陶芸技術を駆使した作品から、従来の陶芸技術とはおもむきの異なる前衛的な作品までが展示され、陶芸文化の多様性が示されています。

〈所属別構成〉

日本工芸会	69名
日展系	32名
民陶系	3名
無所属	6名
計	110名

〈県別構成〉

佐賀県	63名
福岡県	26名
鹿児島県	9名
長崎県	7名
熊本県	4名
大分県	1名
計	110名

【現代の九州陶芸 展示品目録】

No.	作 者 名	県 名	作 品 名	制 作 年	備 考
1	青 木 龍 山	佐賀	天目韻律花瓶	平成 9年 (1997)	館蔵
2	14代 酒井田柿右衛門	佐賀	濁手撫子文大皿	平成10年 (1998)	館蔵
3	井 上 萬 二	佐賀	白磁緑釉椿彫文面取壺	平成10年 (1998)	館蔵
4	中 島 宏	佐賀	青瓷彫文壺	平成 5年 (1993)	第40回 伝統工芸展 館蔵
5	中 里 逢 庵	佐賀	叩き唐津象嵌魚文壺	平成 8年 (1996)	第28回 日展 館蔵
6	尾 前 喜八郎	鹿児島	彩色花入	平成19年 (2007)	第56回 鹿児島県美展出品作
7	永 吉 一	鹿児島	花文角瓶	平成20年 (2008)	第36回 鹿児島県陶芸展招待出品
8	荒 木 幹二郎	鹿児島	苗代川草文壺	平成10年 (1998)	
9	竹之内 彬 裕	鹿児島	抜絵蓮文陶匣	平成20年 (2008)	第43回 西部伝統工芸展
10	福 吉 浩 一	熊本	炭化線象嵌丸文花器	平成20年 (2008)	第43回 西部伝統工芸展
11	久保田 保 義	熊本	青白磁線彫壺	昭和57年 (1982)	第79回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵
12	太 田 秀 隆	福岡	薬灰釉刷毛目掛分鉢	平成17年 (2005)	第102回 九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵
13	甲 斐 一	福岡	草実文深鉢	平成19年 (2007)	第63回 福岡県美術展
14	熊 谷 善 光	福岡	鉄錆釉大壺	平成18年 (2006)	
15	大 村 就 康	福岡	泥彩花入れ	平成18年 (2006)	
16	添 田 和 信	福岡	灰釉叩き花入	平成19年 (2007)	
17	吉 田 浩 通	福岡	炭化組皿	平成19年 (2007)	第42回 西部工芸展
18	犬 童 又 郎	熊本	天目線文壺	平成20年 (2008)	
19	石 原 祥 嗣	福岡	銀彩瓷花器	平成18年 (2006)	

No.	作 者 名	県名	作 品 名	制 作 年	備 考
20	佐々木 厚	福岡	花器 一風穴の一	平成18年 (2006)	
21	井 上 康 徳	佐賀	白磁緑蝶文花器	平成20年 (2008)	第36回 新作陶芸展
22	14代 今泉今右衛門	佐賀	色絵藍色墨はじき雪文花瓶	平成16年 (2004)	館蔵
23	江 口 勝 美	佐賀	和紙染剝抜更紗軸筒	平成 9年 (1997)	館蔵
24	江 口 康 成	佐賀	和紙染花鳥文陶箱	平成18年 (2006)	第42回 西部工芸展 NCC長崎文化放送賞
25	松 尾 潤	佐賀	塩窯彩壺	平成18年 (2006)	第53回 日本伝統工芸展
26	金 子 認	佐賀	叩き壺	平成19年 (2007)	
27	小笠原 長 春	佐賀	青磁面取壺	平成 2年 (1990)	
28	熊 本 義 泰	佐賀	青磁麦文皿	平成18年 (2006)	第53回 日本伝統工芸展
29	奥川 俊右衛門	佐賀	白磁花器	平成18年 (2006)	第19回 日本陶芸展
30	西 山 正	佐賀	青白磁千段深鉢	平成 7年 (1995)	第92回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵
31	坂 本 義 弘	佐賀	布目染付青葉文鉢	平成16年 (2004)	第51回 日本伝統工芸展
32	梶 原 茂 正	佐賀	青磁彩花器	平成19年 (2007)	第90回 佐賀美術協会展
33	庄 村 健	佐賀	藍染花器	平成 8年 (1996)	第93回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵
34	中 尾 恭 純	佐賀	四方襷文彩色象嵌面取花生	平成19年 (2007)	
35	中 尾 英 純	佐賀	和紙染菱文面取壺	平成19年 (2007)	
36	中 尾 龍 純	佐賀	染付網目蝶文花生	平成 2年 (1990)	第40回 佐賀県美術展覧会
37	中 村 清 六	佐賀	白磁艶消深鉢	平成 9年 (1997)	
38	西 山 宗 元	長崎	絞り辻が花釉更紗文鉢	平成19年 (2007)	第42回 西部工芸展
39	樋 渡 陶 六	佐賀	白磁宝珠観世音像	昭和60年 (1985)	館蔵
40	矢鋪 與佐衛門	佐賀	青白磁楕円深鉢	平成13年 (2001)	第48回 日本伝統工芸展
41	高 森 誠 司	佐賀	白磁堆泥文鉢	平成20年 (2008)	第58回 佐賀県展
42	山 口 文 彦	佐賀	青白磁線文深鉢	平成14年 (2002)	第49回 日本伝統工芸展
43	河 口 純 一	佐賀	釉裏彩松葉文花器	平成 9年 (1997)	第80回記念 佐賀美術協会展 美術協会賞 館蔵
44	小 野 隆 治	佐賀	ホワイトライン盛皿揃	平成19年 (2007)	第19回日本陶芸展 毎日新聞社賞
45	小 野 次 郎	佐賀	釉裏金銀彩壺	平成20年 (2008)	
46	納 所 正 一	佐賀	白磁鎬彫文花器	平成17年 (2005)	
47	野 中 拓	佐賀	天目花紋花器	平成19年 (2007)	



7. 永吉 一 鹿児島 花文角瓶 平成20年(2008)
第36回 鹿児島県陶芸展招待出品



45. 小野 次郎 佐賀 釉裏金銀彩壺 平成20年
(2008)

No.	作 者 名	県名	作 品 名	制 作 年	備 考
48	宮 崎 祐 輔	佐賀	紅金銀彩陶宮	平成19年 (2007)	第54回 日本伝統工芸展
49	斉 藤 勉 作	大分	染付木の葉壺	平成18年 (2006)	
50	江 口 秀 山	長崎	孔雀緑彫紋深鉢 「波濤」	平成10年 (1998)	アテネ現代芸術聖展 イドラ市長賞
51	立 井 清 人	長崎	埋め込み大鉢	平成18年 (2006)	第104回 九州山口陶磁展 文部科学大臣賞 館蔵
52	長 野 恵之輔	長崎	彫向日葵	平成18年 (2006)	第68回 一水会美術展
53	山 口 春 利	長崎	白磁広口十二面大壺	平成 元年 (1989)	第36回 日本伝統工芸展
54	横 石 臥 牛	長崎	刷毛目文鉢 「流映」	平成19年 (2007)	
55	有 山 長 佑	鹿児島	櫻島「秋韻」	平成19年 (2007)	第39回 日展
56	有 山 禮 石	鹿児島	水間	平成20年 (2008)	第55回記念 鹿児島県美展会員
57	高 田 さとこ	鹿児島	暉芒一07・D	平成19年 (2007)	第39回 日展
58	久 保 満 義	鹿児島	羽化	平成20年 (2008)	第23回 現代工芸美術九州会展
59	世 良 彰 彦	福岡	華韻	平成17年 (2005)	第37回 日展
60	中 森 久 明	福岡	波紋	平成18年 (2006)	第38回 日展
61	雷 山 陶 秀	福岡	砦 - 本城	平成16年 (2004)	第20回 現代工芸美術九州会展
62	浦 郷 好 文	佐賀	06 夏蒼々	平成18年 (2006)	第38回 日展
63	今 村 博	佐賀	流彩	平成18年 (2006)	第38回 日展
64	石 橋 國 男	佐賀	「うねり」	平成 4年 (1992)	第89回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵
65	青 木 清 高	佐賀	碧韻	平成 3年 (1991)	第41回 佐賀県展 知事賞 館蔵
66	辻 聡 彦	佐賀	「波立つ」	平成14年 (2002)	第99回 九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵
67	大 宅 利 秋	佐賀	流恵	平成18年 (2006)	第38回 日展
68	草 場 茂 也	佐賀	「波濤」	平成 9年 (1997)	第94回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵
69	田 中 忍	佐賀	始 夏	平成 8年 (1996)	第46回 佐賀県美術展覧会 文部大臣奨励賞 館蔵
70	白 武 初 芳	佐賀	大地の詩 - 2007	平成19年 (2007)	第29回 日本新工芸展
71	中 里 重 利	佐賀	黄唐津叩き壺	平成20年 (2008)	
72	大 橋 裕	佐賀	草花文搔落し壺	平成20年 (2008)	
73	熊 本 千 治	佐賀	蒼刻彩器	平成20年 (2008)	第22回 知新会展
74	照 井 一 玄	佐賀	窓	平成20年 (2008)	第105回 九州山口陶磁展
75	馬 場 九洲夫	佐賀	旭・08 (I)	平成20年 (2008)	第47回 日本現代工芸美術展 現代工芸本会員賞
76	福 島 清 海	佐賀	黄紋鉢	平成19年 (2007)	第29回 日本新工芸展 奨励賞
77	藤 井 剛	佐賀	連作 - 流影	平成 8年 (1996)	第28回 日展
78	松 尾 博 之	佐賀	流	平成17年 (2005)	第37回 日展
79	松 本 幹治郎	佐賀	春薫	平成12年 (2000)	第39回 日本現代工芸美術展
80	前 田 泰 昭	佐賀	2006-輝く朝	平成18年 (2006)	第38回 日展
81	中 島 康 夫	佐賀	2004 - 3 II	平成16年 (2004)	第101回 九州山口陶磁展 文部科学大臣奨励賞 館蔵
82	宮 尾 正 隆	佐賀	稜	平成18年 (2006)	第38回 日展
83	吉 田 勝 彦	佐賀	波に映る - 02	平成14年 (2002)	第41回 日本現代工芸美術展

No.	作 者 名	県名	作 品 名	制 作 年	備 考
84	嶋 田 敏 生	佐賀	風 紋	昭和59年 (1984)	第81回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵
85	2代 松本 佩山	佐賀	釉裏紅紫陽花文飾皿	平成 4年 (1992)	
86	井 上 泰 秋	熊本	蒔釉掛大皿「山に月」	平成20年 (2008)	
87	太 田 孝 宏	福岡	白土打掛鈴釉鉢	平成16年 (2004)	
88	梶 原 藤 徳	福岡	象嵌文焼締壺	平成19年 (2007)	
89	松 尾 重 利	佐賀	花辨器	平成19年 (2007)	
90	尾之下 彰 三	鹿児島	花器 (鉢込)	平成20年 (2008)	
91	勝 田 文 博	佐賀	和紙染蓮華草文蓋物	平成19年 (2007)	
92	高 木 清 次	長崎	森の詩	平成16年 (2004)	
93	藤ノ木 土 平	佐賀	朝鮮唐津一重口水指	平成20年 (2008)	
94	14代 中里太郎右衛門	佐賀	唐津井戸茶?	平成20年 (2008)	
95	福 田 忠 夫	佐賀	紅粉引茶?	平成18年 (2006)	
96	溝 上 藻 風	佐賀	唐津茶?	平成20年 (2008)	
97	高 鶴 淳 一	福岡	黒木灰釉茶碗	平成19年 (2007)	
98	亀 井 楽 山	福岡	肩衝茶入	平成17年 (2005)	
99	亀 井 又生庵	福岡	高取耳付茶入	平成13年 (2001)	
100	徳 澤 守 俊	福岡	朝鮮唐津水指	平成17年 (2005)	
101	高 鶴 元	福岡	金彩色釉四方水指	平成18年 (2006)	
102	13代 高取 八山	福岡	笹耳花入	平成19年 (2007)	
103	熊 谷 保 興	福岡	上野掛分花入	平成18年 (2006)	
104	熊 谷 光 修	福岡	鉄釉耳付水指	平成19年 (2007)	第42回 西部工芸展
105	熊 谷 無 造	福岡	上野三嶋茶?	平成19年 (2007)	
106	熊 谷 光 甫	福岡	鉄釉耳付茶入	平成19年 (2007)	
107	鶴 我 淳二朗	福岡	木の葉天目茶碗	平成17年 (2005)	
108	渡 久 兵 衛	福岡	鉄釉櫛目文水指	平成19年 (2007)	
109	井 上 俊 一	福岡	錫白泥華紫銀彩器	昭和63年 (1988)	
110	岩 田 義 實	佐賀	「静寂なる日々」	平成12年 (2000)	第97回 九州山口陶磁展 文部大臣奨励賞 館蔵



80. 前田 泰昭 佐賀 2006-輝く朝 平成18年 (2006)
第38回 日展



86. 井上 泰秋 熊本 蒔釉掛大皿「山に月」
平成20年(2008)

2. 企画展など

(1) 第105回九州山口陶磁展

(第1部 美術工芸品・オブジェの部)

趣 旨

我が国における磁器発祥の地、佐賀県有田町に九州山口地方の陶磁器製品を集め、一般の鑑賞に供し、技術の交流、品質の向上、デザインの改善を図り伝統工芸の継承と産業的発展を期して、この陶磁展を開催します。
(開催要項より)

今回の出品作品は全体で146点、出品作家は134名であった。この陶磁展は長い歴史と伝統をもつだけに例年多くの出品作品数があったが、今回は少し減少傾向にあったことを指摘しておきたい。そんな中で厳正かつ慎重な審査の結果、95点が入選、なかから15点の受賞作品を選んだ。

第1位の文部科学大臣賞は佐賀県有田町の中尾恭純さんの四方襷文彩色象嵌面取花生、第2位の佐賀県知事賞は佐賀県多久市の植木薫さんの青白磁「つなみ」、第三位の有田町長賞は山口県防府市の上田敦之さんの萩化粧抜櫛目文花器が受賞し、佐賀県陶芸協会賞を長崎県大村市の吉澤秀幸さんの彩色象嵌深鉢「夏草」とした。

以上4点の作品はいずれも造形的にも秀でたものがあり、それぞれの作行に個性があって明らかに他の作品から離れた位置づけにある。なかでも中尾さんの作品は、研ぎすまされた鋭い象嵌技法を駆使して、わずかに鎬ぎを立てた六角筒型の器面を飾るなど、全体に細かな洗練された技法でもって全体を際立たした。植木さんは流麗な器の調子を鋭く表現し、また上田さんのそれでは文様、技法とも意図するところがよく主張されたものであった。また吉澤さんは丁寧な作行であり努力の作品と評することができる。

全体に入賞作品には特段の個性はみられなかったが、一定の標準にあったことは確かである。また、一般的に公募展はより挑戦的であって良いと思われるが、今回を見る限り造形や意匠にそれほどの創意工夫を惹く作品は乏しかった。更なる感性の高揚に基づく作品を期待したい。またオブジェはさびしさが続いているようであるが、特に若い人たちの積極性を待望したい分野であることを付け加えておきたい。

(審査長 三輪 嘉六 氏 審査評より)

第1部美術工芸品・オブジェの部

【出品者数】 () は昨年度分

県 名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
山口県	21(23)	25(25)	17(11)	3(0)
福岡県	19(21)	21(23)	14(14)	0(0)
佐賀県	74(86)	78(92)	53(57)	8(10)
長崎県	13(17)	14(18)	6(12)	3(5)
熊本県	2(8)	2(8)	1(3)	1(1)

会 期 平成20年4月29日～5月10日 (12日間)

会 場 第1・第2展示室

主 催 佐賀県・有田町・有田商工会議所

出品概要 入選95点 (うち入賞15点)

招待出品 8点 (第1部)

展示解説 4月29日 (火) 14:00～15:00

学芸課資料係長 宇治章

展示目録 (第1部) A4版24ページ カラー図版35点

入 館 者 6,805人 1日平均567人

審 査 員 (第1部)

三輪嘉六 九州国立博物館長

吉田美統 日本工芸会参与

兼田文男 日展評議員



開場式 テープカット



第一席文部科学大臣賞 四方襷文彩色象嵌面取花生 中尾恭純

県 名	出品者数	出品点数	入選点数	入賞点数
大分県	2(2)	3(2)	1(3)	0(0)
宮崎県	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)
鹿児島県	2(1)	2(2)	2(1)	0(0)
沖縄県	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	134(159)	146(171)	95(100)	15(16)

第1部美術工芸・オブジェの部 〈入賞者名簿〉

賞	入賞作品名	氏 名	住 所
文 部 科 学 大 臣 賞	四方禪文彩色象嵌面取花生	中尾 恭純	佐賀県西松浦郡有田町
2 位 ・ 佐 賀 県 知 事 賞	つなみ	植木 薫	佐賀県多久市
3 位 ・ 有 田 町 長 賞	萩化粧抜櫛目文花器	上田 敦之	山口県防府市
佐 賀 県 陶 芸 協 会 賞	彩色象嵌深鉢「夏草」	吉澤 秀幸	長崎県大村市
朝 日 新 聞 社 賞	白釉鉄流し花器	中村 岳	山口県山口市
S T S サ ガ テ レ ビ 賞	象嵌草紋深鉢	立井 清人	長崎県東彼杵郡波佐見町
熊 本 放 送 賞	水 源	小川 善光	佐賀県武雄市
佐賀県商工会議所連合会賞	青瓷壺	津金日人夢	熊本県上益城郡御船町
佐 賀 新 聞 社 賞	ながれ	山口 隆	長崎県東彼杵郡波佐見町
陶 業 時 報 社 賞	白雲茜壺	松尾 邑華	山口県萩市
西 日 本 新 聞 社 賞	旭・08（Ⅱ）	馬場九洲夫	佐賀県西松浦郡有田町
日 刊 工 業 新 聞 社 賞	塩窯彩壺	松尾 潤	佐賀県武雄市
日 本 経 済 新 聞 社 賞	涅槃	嶋田 敏生	佐賀県西松浦郡有田町
毎 日 新 聞 社 賞	練上焼締波文大鉢	草場 勇次	佐賀県西松浦郡有田町
読 売 新 聞 西 部 本 社 賞	青白磁花器	藤本 浩輔	佐賀県西松浦郡有田町

〈招待作品〉（審査員・重要無形文化財・日本芸術院会員）

作 品 名	出 品 者 名	住 所
縄文の宴	兼 田 文 男	山口県下松市
釉裏金彩牡丹唐草文大皿	吉 田 美 統	石川県小松市
容 延	青 木 龍 山	佐賀県有田町
白磁染麦彫文壺	井 上 萬 二	佐賀県有田町
色絵雪花墨色墨はじき梅雪文鉢	今泉 今右衛門	佐賀県有田町
濁手蔦文蓋物	酒井田柿右衛門	佐賀県有田町
叩き唐津窓絵象嵌魚文壺	中 里 逢 庵	佐賀県唐津市
青磁線彫文花器	中 島 宏	佐賀県武雄市

（2）第25回日本新工芸西九州工芸展 趣 旨

日本新工芸西九州会は、未来を明示できる新しい工芸の造形美を追求して参りました。

各々の素材を生かし、技術を駆使した個性の表現を求め、日々努力を重ねています。

このたびも皆様の暖かいご支援のお蔭をもちまして第26回展として開催する運びとなりました。「美と生活の調和」をテーマに技と心を注ぎ込み、更なる飛躍を目指した作品を展示いたしております。

多くのかたがたのご批判をあおぎ、新しい工芸家の育成につとめ、地方文化の一助となれば幸いです。

ぜひ、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

〈日本新工芸西九州会長 中島康夫氏 あいさつより〉

第26回展は九州陶磁文化館の館長を迎え5名の審査員によりそれぞれの意見交換の中、前向きな監審査が行われた。今回の出品は昨年より若干少なくなったものの、それら公募作の中には質の向上がみられた。世相を反映してか団塊世代の出品が多くなったが、新しい感性の表現や緻密な技法が目をつけた。今後共、生活空間の品格ある工芸作品の追求を目指して精進されることを期待したい。

大賞「大地（原風景）」（陶器）はやわらかな淡い配色を巧みに使い自然なテーマにして独自の空間を作り上げている。

知事賞「燃える太陽」（漆）は黒・朱・黄漆を主とした色の重なり妙味を生かし大地と海と空を表現した秀作である。

〈審査委員長 小川泰彦氏 作品講評より〉

会 期 平成20年5月28日～6月8日（11日間）

会 場 第1展示室

主 催 日本新工芸西九州会

共 催 佐賀県立九州陶磁文化館

後 援 佐賀県・佐賀県企業メセナ協議会

出品概要 48点

（陶器25点 磁器9点 染色8点 人形3点
七宝2点 漆1点）

出品目録 展示目録 B5版4ページ

入 館 者 1,752人 1日平均159人

審 査 員 有山長佑 日展評議員・日本新工芸家連盟理事

前田泰昭 日展評議員・日本新工芸家連盟理事

小川泰彦 日展会員・日本新工芸家連盟理事

高木清次 日展会友・日本新工芸家連盟評議員

稲富初夫 佐賀県立九州陶磁文化館長



展示風景

〈受賞者名簿〉

賞	入 賞 作 品 名	氏 名	住 所
大 賞（九州新工芸会長賞）	大地（原風景）（陶器）	白 武 初 芳	佐賀市
佐 賀 県 知 事 賞	燃える太陽（漆）	古 川 七三人	八女市
佐賀県立九州陶磁文化館長賞	氷山の人（陶器）	松 尾 浩 二	福岡市
〃	羽毛文十六角壺（陶器）	西 川 民 男	行橋市
〃	潮 韻（陶器）	吉 澤 秀 幸	大村市
奨 励 賞	初夏の風（陶器）	猪立山 正 史	福岡市
〃	萌動一Ⅱ（磁器）	山 口 貴 司	波佐見町
〃	残 照（人形）	米 原 佐代子	大村市
〃	洋種山牛蒡（七宝）	江 島 カオル	久留米市
〃	実りのころ（人形）	宮 西 和 代	大村市
〃	遠い日（染色）	松 浦 るつ子	宗像市

(3) 第17回 陶千坊展 趣 旨

陶千坊(とうせんぼう)展は、佐賀県立有田窯業大学校の絵付け研修の修了生によって、平成6年に始めました。その後、参加資格が広げられ、今日では陶芸を志す者の発表の場になっています。展覧会の趣旨には「子供のような心で焼き物を制作し、人々が集い、自由で平等な運営により、相互間の相乗的な発展を目指す陶芸展」とうたわれています。

遠くは大阪府、兵庫県などの関西圏や福岡県、長崎県そして地元佐賀県内などで活躍する22名の陶芸家たちが、今回も自慢の新作を披露します。

(4) 第23回 現代工芸美術九州会展 趣 旨

第1回展より九州会の会員・会友及び九州一円から公募して入選・入賞した作品による工芸美術展を催してまいりましたが、会の目的である工芸における新しい創作活動を根幹に工芸作家の資質の向上を図るべく研鑽をつみ、あわせて地方文化の発展に多少とも貢献できたものと思っております。

今回の公募の中に新しい試みによる作品が出品され、会員・会友と共に材質も多岐に亘り、確実に進展のあとがみられます。

この第23回展を期に一層研鑽していきたいと存じます。ご高覧の上ご批判賜りますようお願い申し上げます。
(現代工芸美術家協会九州会長 青木清高氏 あいさつ より)

(5) 新収蔵品展 趣 旨

新収蔵品展では、平成19年度に購入や寄贈をうけて新たに館蔵品となった陶磁器など53件70点を紹介します。

薬灰釉壺、鉄絵千鳥草文向付や古伊万里の白磁唐花文角皿(承応式歳銘)、色絵竹梅菊鳳凰文角皿など、肥前の陶器や磁器が楽しめます。

また、岩永範彦(1960～2002)「洋」や、九州山口陶磁展受賞作の立井清人(1947～)「埋め込み大鉢」などの現代作家の作品も紹介します。

(開催要項より)



展示風景

会 期 平成20年6月10日～6月15日 (6日間)
会 場 第1展示室
主 催 陶千坊
(佐賀県立有田窯業大学校卒業生有志)
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要 皿、壺、鉢、人形など約400点を展示
入 館 者 1,104人 1日平均184人

主 催 現代工芸美術家協会九州会
後 援 佐賀県・福岡県・鹿児島県・長崎県・熊本
県・宮崎県・大分県教育委員会・沖縄県教育
委員会・有田町
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要 陶磁器、染織、七宝、人形、革、藤
など67点
入 館 者 1,178人 1日平均118人
会 期 平成20年6月22日～6月29日 (7日間)
会 場 第1展示室



展示風景

会 期 平成20年7月1日～7月21日 (19日間)
会 場 第1展示室
主 催 佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要 肥前唐津焼
肥前古伊万里様式
近代の磁器 (佐賀・長崎・福岡)
九州以外の陶磁器
中国の磁器
現代作家作品 (佐賀・長崎)
計53件70点
展示解説 7月5日 (土) 14:00～15:00
学芸課資料係長 宇治章
入 館 者 3,188人 1日平均168人

(7) 夏休み特別企画

やきもののかたち 人と動物

趣 旨

やきもののかたちは、主に食器などの器が多くの種類がありますが、鑑賞用の人形類も肥前地方の陶磁器ではすぐれたものが製作されています。特に柿右衛門様式の人形など、江戸時代に既にみられ、優美な婦人像やかわいらしい仔犬の像などがみられます。こうした人形類は、人や動物などのうつくしい姿や動きを巧みにとらえて表現しており、日本の工芸品としてたいへん高く評価されています。

夏休み特別企画「やきもののかたち 人と動物」では、館蔵品を中心にさまざまなやきものの人形類を展示してその製法と意匠を楽しく紹介するものです。人形の内部構造を最新の文化財用X線CTスキャンで撮影した様子や復元研究の成果も展示します。

〈開催要項より〉



展示風景

会 期 平成20年7月23日～8月31日 (35日間)
会 場 第1展示室
主 催 佐賀県立九州陶磁文化館
協 力 九州国立博物館 有田町教育委員会
北川陶芸合名会社 21世紀COEプログラム
九州産業大学 柿右衛門様式陶芸研究センター

出品概要 1 やきものの人形の内部を見てみよう！
(柿右衛門様式の婦人人形・CTスキャン等)
2 やきものの人形はどうやってつくるの？
(有田町内遺跡出土の人形像土型・復元研究のパネル紹介等)
3 さまざまな人物像 (寺内信一作〈吉田松陰像〉からくり時計の人形等)
4 やきものの動物園 (やきものの狛犬・馬・猿・鷹置物等)
計29件86点

展示解説 7月26日 (土) 14:00～15:00
学芸員 藤原 友子

入 館 者 4,409人 1日平均126人



展示風景

(8) 第7回 伊万里・有田焼伝統工芸士展

趣 旨

伊万里・有田焼の制作にかかわる伝統工芸士の方々の作品を一堂に展示し、その優れた技術と活動を紹介します。

伝統工芸士とは、経済産業大臣認定の資格制度で、伝統的工芸品制作の認定試験に合格した技術者のことです。

伊万里・有田焼は経済産業大臣によって伝統的工芸品として指定されており、これにかかわる伝統工芸士はろくろ部門、下絵付け部門、上絵付け部門合わせて現在88名が活躍しています。

〈開催要項より〉

会 期 平成20年9月6日～9月21日 (15日間)
会 場 第1展示室
主 催 伊万里・有田焼伝統工芸士会
共 催 佐賀県立九州陶磁文化館
後 援 (財) 伝統的工芸品産業振興協会
佐賀県陶磁器工業協同組合

出品概要 会員50名による作品約100点

入 館 者 2,759人 1日平均184人



展示風景

(9) 特別展

土の美 古唐津 一肥前陶器のすべて— 趣 旨

肥前の陶器すなわち唐津焼の生産は、天正年間（1573～1592）に岸岳城（唐津市北波多）周辺で始まりました。文禄2年（1593）波多氏の改易により窯場が岸岳から南部の伊万里、武雄、有田、嬉野さらに長崎県側まで移動・拡大しました。そして慶長年間（1596～1615）には生産量が増大し、全国に流通するようになりました。

こうして唐津焼の作風は、当初の岸岳系の藁灰釉から絵唐津中心になります。また豊臣秀吉の朝鮮出兵を契機とし17世紀初頭には朝鮮から新たな技術が導入され、三島手や二彩手などの従来と異なった装飾手法による唐津焼が、特に武雄地域を中心に始まりました。その後は京焼風陶器や現川焼、献上唐津など時代にあった多様な唐津焼が生まれました。

製品の種類は茶の湯で用いる水指や茶碗などの茶道具、皿や碗、向付などの食器、壺・甕や瓶などの貯蔵具、挿鉢などの各種の生活用具など多岐にわたっています。

当展覧会では、近年の古窯跡や消費地における研究の成果をふまえ、新たな見方で唐津焼の変遷と魅力を紹介するものです。

〈主催者あいさつより〉

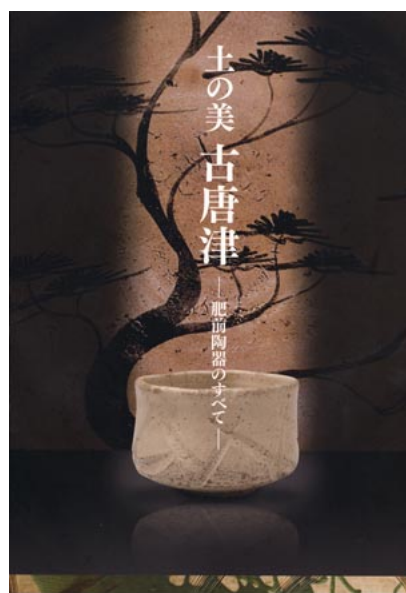


開会式テープカット



展示風景

- 会 期** 平成20年9月27日～11月9日（44日間）
会 場 第1・2・3展示室
主 催 佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要 唐津（肥前の陶器）－江戸から明治まで－
241件292点
県内古窯跡出土陶片257点
展示解説 10月11日（土）14:00～15:00
特別学芸顧問 大橋康二
10月25日（土）14:00～15:00
副館長 鈴田由紀夫
講 演 会 11月1日（土）13:30～15:00
土岐市文化振興課課長補佐 林順一氏
関連催事 ・記念茶会
10月11日（土）13:00～15:30
裏千家淡交会佐賀支部 南宗紅氏
入 館 者 10,872人 1日平均247人
展示図録 A4版・261ページ・価格2,500円
全出品作品をカラー掲載（作品解説付）



図録表紙



展示風景

(10)「茶の湯名碗30選」展

趣 旨

桃山・江戸期の茶の湯の隆盛は、九州陶磁の発展を大いに促しました。

朝鮮半島の陶磁技術に影響されて、佐賀県から長崎県にかけて唐津焼のせいさんが本格化するのをはじめ、福岡県の上野焼、高取焼、熊本県の八代焼、小代焼、鹿児島県の薩摩焼などでも多くの窯が築かれ、九州各地の「国焼き」を形成していきました。そして、中国・朝鮮の陶磁の影響を受けながらも、それぞれ特色ある茶陶の生産が行われました。

本展では、茶陶の主角とでもいうべき茶碗に着目し、九州陶磁を中心に、その先駆をなした中国・朝鮮陶磁とともに展示・紹介します。

〈開催要項より抜粋〉

会 期 平成20年11月14日～平成20年11月30日
(16日間)

会 場 第1展示室

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 館蔵の陶磁器を中心に
13世紀から16世紀にかけての中国・朝鮮
の茶碗及び16世紀末から19世紀にかけて
九州各地で焼かれた茶碗を展示

展示解説 1月22日(土)14:00～15:00
学芸課資料係長 宇治章

関連催事 記念茶会
11月22日(土) 13:00～15:00

入 館 者 2,521人 1日平均158人



展示風景

(11) 第1回 究陶会展

趣 旨

九州陶磁文化館主催の陶芸教室の卒業生有志で組織する究陶会会員が制作した作品を展示する「第1回 究陶会展」を開催します。

これまで陶芸教室OB展として第3回展までを開催してきましたが、今回、「究陶会」発足を機に、新たに第1回展として開催するものです。

会 期 平成20年12月9日～12月14日 (6日間)

会 場 第1展示室

主 催 究陶会

共 催 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 ランプシェード、茶碗、壺、皿、鉢、花瓶
など

入 館 者 719人 1日平均120人

(12)故青木龍山作品特別展示

趣 旨

故青木龍山氏は、日本芸術院会員であり、平成17年には文化勲章を受章されるなど、日本陶芸界の最高峰としての足跡をのこされ、昨年、平成20年4月23日惜しくも逝去されました。

このたび、ご子息の青木清高氏から龍山氏の代表作61点と他の陶芸作家の作品9点、合わせて70点の作品を佐賀県へ寄贈いただきました。

龍山氏の遺作は、昭和30年代の初期作品から平成19年までに及ぶ陶歴の全体を知ることができる素晴らしい作品の数々であり、貴重な県民の財産です。

九州陶磁文化館では、これを記念して、ご寄贈作品を一堂に紹介する展覧会を来年度に開催することとしていますが、今回、県民の皆様にも少しでも早く龍山氏の作品を鑑賞していただきたく、ご寄贈作品から10点を選び、明日1月6日(火曜日)よりいち早く公開します。これを機会に是非ご鑑賞ください。

会 期 平成21年1月6日～2月1日 (25日間)

会 場 展示ホール

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 寄贈いただいた青木龍山氏作品61点の中から、初期から晩年に至る10点を展示

展示内容 染錦「赤群」、染付線彫壺、「流響」、連作「容」、「豊唱」、連作「胡沙の舞」、「燃」、「遊」、「愁」、「愁想」

展示解説 平成21年1月6日(火)、17日(土) 14時～
副館長 鈴田由紀夫

(12) 新春展 「宴のうつわ」

趣 旨

江戸時代になると全国的な流通網が発達し、北国の昆布や南国のかつおぶしが流通し、それらからとった出汁による和食の基本形が成立しました。そうした料理をいただくための陶磁器のうつわの生産が各地でさかんになり、まさに肥前の陶磁器は和食の成立に密接にかかわる道具でした。また、日常の食事は質素でも、祝いごとの際には特別な食事を古くからひとつとは折々楽しんだことから、日本の食器は祝いの場に似合う美しいものが作られています。この展覧会では、江戸時代の肥前磁器を中心に、新春の祝いの宴にふさわしいうつわを紹介いたします。

(13) 第40回佐賀県立有田工業高校卒業制作展

趣 旨

本校は工業の原点である「ものづくり」を通して、創造的で、行動力に満ちた、他者への思いやりの心を持つ人間性豊かなスペシャリストの育成を目指しております。

作品は若者の特権である柔軟な発想、鋭い感性をもって、多種多様な分野に果敢に挑戦して制作したものです。内容につきましてはまだまだのところがああると思いますが、ご指導、ご鞭撻を賜りたいと存じます。

この作品展は、40年前デザイン科のみでスタートしましたが、その後、年ごとに充実してまいりました。そして西暦2000年に迎えました創立百周年を機に、本校の一層の発展を期して全校・全学科をあげて開催することになりました。

「ものづくり」の有工「ものづくり魂」を育む有工のさらなる飛躍を目指す所存でございますので、ご理解とご協力の程をよろしくお願い申し上げます。

会 期 平成21年1月20日～1月25日（6日間）

会 場 第1展示室および展示ホール
エントランスホール・会議室

主 催 佐賀県立有田工業高等学校

共 催 佐賀県立九州陶磁文化館

(14) 第22回 佐賀県立有田窯業大学校卒業制作展

趣 旨

本美術展を通して、子ども達の造形的な創造活動の能力を伸ばすとともに、創造の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。

保護者および地域住民の皆様に、子ども達の学習の成果を公開し、幅広く学校教育および造形教育への理解と協力を願う。

地域の特性を活かした作品を展示することにより、子ども達の地域社会への興味を喚起し、伝統文化を継承し、発展させようとする高い志を育む。

〈開催要項より〉

会 期 平成20年12月19日～平成21年1月12日
(20日間)

会 場 第1展示室

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

出品概要 館蔵の陶磁器を中心に50件89点

展示内容 食膳の器（大皿・大鉢・蓋付鉢・重箱・揃いものなど）

酒器（銚子・徳利・盃・盃台・盃洗）

展示解説 1月10日(土)14:00～15:00

学芸員 藤原友子

入 館 者 2,273人 1日平均114人

出品概要 生徒216名による作品約440点

展示内容 全日制・定時制全学科の3・4年生が課題
研究で取り組んだ作品を中心に展示

課題研究発表会

【デザイン科】

1月20日 9:30～15:00

【セラミック科】

1月23日 午前

対象 全校生、一般

場所 九州陶磁文化館 講堂

入 館 者 2,180人 1日平均363人



展示風景

会 期 平成21年1月27日～2月1日（6日間）

会 場 第1展示室

主 催 西松浦郡教育研究会図工・美術部会

共 催 佐賀県立九州陶磁文化館

有田町教育委員会

出品概要 西松浦郡内の小学校4校、中学校2校の児童、
生徒の作品のうち、郡や県の審査会で特に優
秀と認められた作品（絵画、デザイン、線描、
立体の4部門）平面作品54点 立体作品200
点

※立体作品は地域の特色から焼き物が中心

入 館 者 1,851人 1日平均309人

(15) テーマ展「有田磁器の形と用途展」

趣 旨

県立九州陶磁文化館では、有田磁器の特徴・見方を「形と用途」という観点から、有田磁器の体系的収集品として知られる「柴田夫妻コレクション」の中から約50点を選定し、写真や説明パネルなどを交えて、分かりやすく解説・展示します。



展示風景

会 期	平成21年2月3日～2月15日（12日間）
会 場	第1展示室
主 催	佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要	柴田夫妻コレクションを中心とした約50点 Ⅰ 形の基本形 (1) 器のプロポーション (2) 器の種類と形態 Ⅱ 陶磁器のさまざまな用途 (1) ぐらしのなかの器 (2) 装いの道具 (3) 娯楽と諸芸の道具 (4) いのりの道具 Ⅲ 形の変遷 (1) 皿、小皿、手塩皿、大皿 (2) 碗、猪口、・小鉢、鉢 (3) 瓶・水注、壺
展示解説	2月7日(土)14:00～15:00 学芸員 宇治 章
入 館 者	1,913人 1日平均159人
関連冊子	A5版・40ページ 価格800円

(16) 幻の明治伊万里ー「精磁会社」展

趣 旨

明治伊万里とは、日本近代の黎明期である明治時代の有田焼で、和と洋の意匠が織りなす独創的な優美さは、ドイツのマイセンやフランスのセーブルをも凌ぐ高い評価を獲得。当時の有力な輸出品として、明治政府の殖産興業と外貨獲得に貢献したことはもとより、鹿鳴館の夜毎の饗宴を彩り、西洋の要人をして驚嘆せしめました。このように日本の窯業界の声価を国際的に高めたのが、明治12年(1879年)、有田の地に大望を抱いた陶工たちによって設立された「精磁会社」です。しかし、この「精磁会社」は数少ない名品を後世に遺し、伝統的な職人技術とともにわずか十有余年で消滅したのです。その短命さが単なる感傷を超えて日本の近代化の象徴的な光と陰を見せてくれます。10年後に発祥400年を迎える有田窯業界は、長期の景気低迷で未曾有の危機的状況にあり、今まさに練達の技術が廃れんとしています。失われた技術を取り戻し、それを基に有田焼をさらに進化させていくために、温故知新の精神が必要です。明治伊万里に学び、誇りある日本文化を次世代に継承していくため、復刻プロジェクトを推進していきます。この度、プロジェクトへのご理解ご協力をお願いするとともに、栄光の「精磁会社」製品をご披露する次第です。

会 期	平成21年2月17日～2月22日（6日間）
会 場	第1展示室
主 催	幻の明治伊万里ー「精磁会社」展実行委員会
共 催	佐賀県立九州陶磁文化館
出品概要	復刻品を中心に約100点
入 館 者	1,887人 1日平均315人



展示会チラシ

(17) 第20回九州陶磁器デザイナー協会展

趣 旨

九州陶磁器デザイナー協会は、佐賀・長崎にまたがる肥前窯業圏を中心として、陶磁器デザインに関わる企業デザイナー・教育者・窯業技術センター職員等の親睦と研修の集まりで、その始まりは、昭和26年にまでさかのぼりますが、会としての形式は特に整えず、問題意識のある人達が自由に集まって発言をする場として永く続いてまいりました。

このたび第20回目の協会展を開き、各会員の作品を紹介する事で、地域のなかに根付き陶磁器を通して戦後のデザイン運動の九州での母体ともなってきた協会の現

在の成果を多くの人に観ていただきたいと思います。
〈開催要項より〉

会 期	平成21年2月24日～3月1日（6日間）
会 場	第1展示室
主 催	九州陶磁器デザイナー協会
共 催	佐賀県立九州陶磁文化館
後 援	有田町・波佐見町 波佐見陶磁器工業協同組合
出品概要	50名の会員各自による作品 約300点
入 館 者	1,080人 1日平均180人

(18) 第23回 佐賀県立有田窯業大学校卒業制作展
趣 旨

佐賀県には歴史と伝統を誇る陶磁器産業があります。その陶磁器産業の後継者・技術者となる人材を育成することを目的として設立された有田窯業大学校では、このたび第23期の卒業生を送り出すことになりました。

ここに、卒業生のそれぞれの熱き思いと、精魂を込めて制作した成果を広く皆様にご覧いただくため、第23回卒業制作展を開催いたします。

それぞれの作品をごゆっくりご覧いただきますとともに、率直なご意見を賜りますようお願い申し上げます。

〈佐賀県立有田窯業大学校長 酒井田柿右衛門氏

主催者あいさつ より〉

会 期 平成21年3月3日～3月8日（6日間）

会 場 第1展示室および展示ホール
エントランスホール

主 催 佐賀県立有田窯業大学校

共 催 佐賀県立九州陶磁文化館

後 援 有田町
財団法人窯業教育振興会

出品概要 学生48名による作品約200件800点
(食器、インテリア、釉薬研究、
有田の伝統技法による飯碗・皿など)

入 館 者 1,621人 1日平均270人



展示風景

(19) 第24回 有田陶交会展

「フーズカップ」展

趣 旨

有田陶交会は、有田焼製造にたずさわる窯元青年部による組織です。毎年、テーマを決めて作品を発表されていますが、今年のテーマは「フーズカップ」です。

現代の多様な食生活において、多くの種類の器の使い方が生まれていますが、料理に使えるハンドル付カップが新たに製作されました。大変意欲的なカップとなっています。どうぞ御観覧ください。

〈開催要項より〉

会 期 平成21年3月17日～3月22日（6日間）

会 場 第1展示室

主 催 有田陶交会

共 催 佐賀県立九州陶磁文化館

後 援 肥前陶磁器商工協同組合
佐賀県陶磁器工業協同組合
佐賀県窯業技術センター

入 館 者 1,307人 1日平均218人



展示風景

(20) 第50回 一水会陶芸部公募展

趣 旨

一水会は洋画の公募団体として発足し、その後、陶芸部は裕伊之助、木下義謙、十三代柿右衛門、十二代今右衛門が発起人となり作られました。

今年は一水会展70年、陶芸部展50年の節目に当たります。

この機を記念し、東京西部アート・フォーラムで開催後、能美市（石川県）、有田、砥部（愛知県）、長野市（長野県）で巡回する作品展です。

会 期 平成21年3月25日～3月31日（7日間）

（※4月5日まで12日間）

会 場 第1展示室

主 催 一水会陶芸部

出品概要 61作品

入 館 者 1,699人 1日平均242人



展示風景

3. 利用状況

◎ 月毎の入館者数

月	開館日数	入館者数	月	開館日数	入館者数
4月	27	6,023	11月	28	6,218
5月	28	8,451	12月	24	2,441
6月	25	3,846	1月	28	5,566
7月	28	4,266	2月	25	5,062
8月	27	3,419	3月	27	6,134
9月	27	4,897	合計	325	62,905
10月	31	6,582	平均	27	5,242

◎ 展覧会別の入館者数（開催順）

No.	展 覧 会 名		会 期	入 館 者 数
(継続)	飯碗展－江戸から現代まで－	主催	4/ 1～ 4/ 6	1,199
1	第105回 九州山口陶磁展		4/29～ 5/10	6,805
2	第26回 新工芸西九州工芸展		5/28～ 6/ 8	1,752
3	第17回 陶千坊展		6/10～ 6/15	1,104
4	第23回 現代工芸美術九州会展		6/22～ 6/29	1,178
5	新収蔵品展	主催	7/ 1～ 7/21	3,188
6	夏休み特別企画 やきもののかたち 人と動物	主催	7/23～ 8/31	4,409
7	第7回伊万里・有田焼伝統工芸士展		9/ 6～ 9/21	2,759
8	特別企画展 土の美 古唐津－肥前陶器のすべて－	主催	9/27～11/ 9	10,872
9	茶の湯 名碗30選	主催	11/14～11/30	2,521
10	第1回 究陶会展		12/ 9～12/14	719
11	新春展 宴のうつわ	主催	12/19～ 1/12	2,273
12	第39回 佐賀県立有田工業高等学校卒業制作展		1/20～ 1/25	2,180
13	第26回 西松浦郡小・中学校学童美術展		1/27～ 2/ 1	1,851
14	テーマ展 有田磁器の形と用途展	主催	2/ 3～ 2/15	1,913
15	幻の明治伊万里－「精磁会社」展		2/17～ 2/22	1,887
16	第20回 九州陶磁器デザイナー協会展		2/24～ 3/ 1	1,080
17	第23回 佐賀県立有田窯業大学校卒業制作展		3/ 3～ 3/ 8	1,621
18	第24回 有田陶交会展		3/17～ 3/22	1,307
19	第50回 一水会陶芸部公募展		3/25～3/31(4/ 5)	1,699(2,590)
	合 計		()内は4/5まで	52,317(53,208)

4. 館蔵資料の貸出

No.	事業・展覧会名	会 期	貸出先	貸出件数
1	猿投・瀬戸：全国古窯陶磁資料展	H20.4.1 ～H21.3.31	愛知県陶磁資料館	陶片183点
2	常設展	H20.4.1 ～H21.3.31	佐賀県立 名護屋城博物館	5件5点
3	柿右衛門と鍋島－肥前磁器の精華－	H20.4.5 ～H21.6.1	出光美術館	8件8点
4	文化庁主催「江戸の工芸（仮称）」	H20.4.18 ～6.22	文化庁	8件12点
5	「馬－人と自然の文化史－」展	H20.4.20 ～11.30	北九州市立 小倉城庭園博物館	7件19点
6	江戸東京博物館で開催される「薩摩焼 バリ伝統美展 里帰り展（仮称）」	H20.9.9 ～H21.3.22	薩摩焼バリ伝統美展 実行委員会	3件3点
7	第58回佐賀県美術展覧会	H20.9.27 ～.10.5	佐賀県私学文化課	1件1点
9	堺市博物館、鹿児島県歴史資料センター黎明館、江戸東京 博物館で開催される「薩摩焼バリ伝統美展 里帰り展（仮称）」	H20.9.9 ～H21.3.22	薩摩焼バリ伝統美展 実行委員会	1件1点
10	第21回特別展「シーボルトとお茶展」	H21.1.30 ～.3.22	シーボルト記念館	13件13点
11	幻の明治伊万里－『精磁会社』展	H21.2.17 ～2.22	有田製窯株式会社	29件40点
平成20年度 貸出数		75件（102点）	陶片点数はのぞく	

5. 資料閲覧・写真撮影・フィルム借用・印刷物等掲載・複製申請処理

平成20年4月1日～21年3月31日 106件（535点）

※ この他、施設としての写真撮影・フィルム借用・印刷物掲載が15件ありました。

教育普及活動

1. 展示案内

1. 定時案内は、午前・午後一回ずつ行う。
2. 団体予約は予約制だが、要望に応じて随時対応している。
3. 休館日でも前もって予約のある場合は、臨時開館する。

平成20年度 展示案内実施回数

実施回数							人数					
月	学芸(館長)	総務	嘱託			計	学芸(館長)	総務	嘱託			計
			予約	定時等					予約	定時等		
4月	11	0	38	6	32	49	231	0	496	251	245	727
5月	9	0	41	6	35	50	180	0	570	232	338	750
6月	6	0	21	8	13	27	50	0	220	133	87	270
7月	3	0	23	7	16	26	88	0	350	228	122	438
8月	5	0	18	7	11	23	31	0	173	64	109	377
9月	6	0	22	10	12	28	133	0	436	346	90	1005
10月	13	0	11	10	1	24	253	0	215	213	2	468
11月	14	0	24	9	15	38	305	0	187	117	70	492
12月	1	0	19	6	13	20	13	0	205	141	64	218
1月	4	0	19	6	13	23	74	0	286	144	142	360
2月	5	0	13	8	5	18	46	0	338	275	63	384
3月	7	0	27	10	17	34	91	0	551	322	229	1193
	84	0	276	93	183	360	1495	0	4027	2466	1561	6682

* オンリーワンの回数・人数は含まれない。

展示案内実施回数（オンリーワン）

	実施回数			人数		
	学芸	嘱託	計	学芸	嘱託	計
5月	0	1	1	0	150	150
6月	1	1	2	104	131	235
7月	2	0	2	248	0	248
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	1	1	0	80	80
10月	1	4	5	142	232	374
11月	1	1	2	170	150	320
12月	0	1	1	0	111	111
1月	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	1	42	0	42
	6	9	15	706	854	1560

団体
(自由観覧)

	団体	人数
4月	28	963
5月	41	1,913
6月	19	848
7月	32	1,556
8月	7	247
9月	20	931
10月	24	1,058
11月	21	1,123
12月	8	336
1月	25	1,375
2月	16	687
3月	17	948
年間	258	11,985

◎平成20年度「オンリーワン」のさが体験活動支援事業への協力

趣 旨

本県は、豊かな自然に恵まれ、農林水産業や窯業等の地場産業が盛んであるが、子どもたちは、これらの産業についての理解が十分ではなく、直接体験する機会等も乏しくなっている。

そこで、子どもたちが、佐賀ならではの、また地域ならではの各学校の特色に応じた「オンリーワン」の体験活動を行うことにより、豊かな感性を育むとともに郷土への理解と愛情を深め、ふるさと佐賀のよさを実感し、誇りに思う気持ちを育てる。

事業の対象

県内の小学校4年生～中学校2年生の児童生徒

事業の実施期間

平成20年4月1日～平成21年3月末日

当事業による入館状況

小学校	10校	874人
中学校	5校	667人
計	15校	1,541人

オンリーワン事業の入館者									21年3月31日現在
	小 学 校				中 学 校				
	日付	市町村	学 校 名	人数	日付	市町村	学 校 名	人数	
1	5/28	佐賀市	鍋島小学校 5年生	149	6/10	有田町	有田中学校 1年生 1年生	105	
2	6/27	伊万里市	伊万里小学校 4年生	129	7/8	佐賀市	昭栄中学校 1年生 1年生	231	
3	9/26	唐津市	佐志小学校 4年生	80	10/14	伊万里市	滝野中学校 (小学校も)	11	
4	10/10	佐賀市	神野小学校 4年生	142	11/5	武雄市	武雄青陵中学校 1年生 1年生	170	
5	10/14	伊万里市	滝野小学校 (中学校も)	14	11/12	佐賀市	弘学館中学校 2年生 2年生	150	
6	10/14	有田町	中部小学校 4年生	92					
7	10/21	武雄市	武内小学校 5年生	33					
8	10/24	武雄市	朝日小学校 5年生	82					
9	12/18	唐津市	外町小学校 6年生	111					
10	2/3	唐津市	北波多小学校 4年生	42					
				874					667

計	学校数	15校
	生徒数	1,541人

2. 実技講座

(1) 陶芸教室

趣旨

佐賀県立九州陶磁文化館では、陶芸に対する理解を深めるために、初心者の方でも、土をこね、形をつくり、焼き上げる体験から、やきものを作るよろこびを味わっていただくことができるように、「土もの(陶器)」の制作を指導する陶芸教室(入門講座)を開催します。

〈開催要項より〉

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

会 場 ろくろ室・絵付室・窯室

会 期

第51期

平成20年の下記の日の13時30分～16時30分

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 5月17日(土) | (2) 5月24日(土) |
| (3) 5月31日(土) | (4) 6月 7日(土) |
| (5) 6月14日(土) | (6) 6月21日(土) |
| (7) 6月28日(土) | (8) 7月 5日(土) |
| (9) 7月12日(土) | (10) 7月19日(土) |

第52期

- | | |
|--------------|---------------|
| (1) 7月26日(土) | (2) 8月02日(土) |
| (3) 8月09日(土) | (4) 8月16日(土) |
| (5) 8月23日(土) | (6) 8月30日(土) |
| (7) 9月06日(土) | (8) 9月13日(土) |
| (9) 9月20日(土) | (10) 9月27日(土) |

講 師 第51期教室 溝上良博先生 (陶芸家)
第52期教室 溝上雅人先生 (陶芸家)

応募資格 佐賀県内に住む成人で、作陶の経験のない方 (初心者)

定 員 各期15人(応募者多数の場合は抽選とする)

応募方法 往復はがきに、住所・氏名・電話番号および第51期・第52期どちらを希望するかを明記して、5月7日(水)必着で申し込む。



〔第51期〕

ボランティア養成講座

趣 旨

県民講座の充実を図るため、陶芸教室の受講経験者(OB)の中から県民講座(陶芸教室・親子陶芸教室)の講師を補佐するボランティアを養成するものです。

受 講 料 2,300円 (粘土代その他)

講座内容 手づくね、あるいはロクロで、皿・鉢・壺・瓶などを成形し、素焼き、施釉、焼成するまでを指導します。

参 加 者 第51期 14名 第52期 18名

OBの活動

【陶芸教室利用規定】

陶芸教室受講終了者で、さらにより高度の陶芸を会得し、陶芸文化に対する関心を深めることを希望する人に対して、陶芸実習施設を開放し、自由な創作活動の機会を提供する。

●利用日時

土曜日 午前9時～午後4時

ただし陶芸教室開催中は受講生の活動をさまたげてはいけない。

日曜日 午前9時～午後4時

なお、館の行事等の都合により利用を断ることがある。

●注意事項

1. イ 施設利用前に利用者は事務室に届け出、職員が開錠する。
ロ 利用後は事務室に届け出、職員が施錠する。
ハ 利用者は利用日誌に記入して提出する。
2. 室内の清掃、道具の整理にはとくに留意する。
3. 施設備品以外の消耗品、その他に要する経費は本人が負担する。
4. 備品の使用についてはとくに注意し、破損した場合は、協議のうえ弁償する。
5. 作品の焼成は職員の指示に従う。
6. 上記の注意事項を守らない方については、利用を断る事がある。



〔第52期〕

会 期 第11期・第12期

陶芸教室の第51期・52期と同時開催

参 加 者 第11期 2名

第12期 7名

(2) 親子陶芸教室

趣 旨

陶芸に対する理解を深めるために、親子でやきものを作るよろこびを体験していただく「土もの(陶器)」の教室を開催します

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

会 期 7月13日(日) 9:30～15:30

8月 3日(日) 13:00～16:00

8月17日(日) 13:00～15:00

場 所 佐賀県立九州陶磁文化館

指 導 者 究陶会会員

応募資格 県内の小学校4～6年生の児童と保護者で、3日間とも参加できる方

定 員 10組20名(応募者多数の場合は抽選とする)

材 料 費 1人 500円

体験内容 貯金箱などを手びねり、板づくり、ロクロで作って楽しむ。

応募方法 往復はがきに、住所、児童・保護者の氏名、小学校名、学年、電話番号を明記して7月3日(木)必着で申し込む。

参 加 者 親子計20人



実習風景

3. 佐賀県九州陶磁文化館・地域主催イベント

(1) 第5回「有田雛のやきものまつり」関連展示

「やきものとひなまつり」

趣 旨

2月11日(水)から3月20日(金)まで、有田町では第5回「有田雛のやきものまつり」が開催されます。有田の雛祭りは、伝統的建造物保存地区に指定されている町並みや伝統産業である有田焼の技術を活かすことによって、この町ならではの美しい日本の伝統文化を人々に提供しています。

九州陶磁文化館もひなまつりを、日本の陶磁器文化を人々に普及できるよい機会ととらえ、展示室の一角を利用し、個人所蔵の古人形と雛道具および当館所蔵品の中からひなまつりにふさわしい古陶磁を展示します。

期 間 平成21年2月3日(火)～3月22日(日)

9:00～17:00 (月曜休館)

展示場所 館内エントランスホールの独立ケースおよび

柴田夫妻コレクション展示室の一角

展 示 品 個人所蔵の古人形と雛道具および九州陶磁文化館所蔵品の中からひなまつりにふさわしい古陶磁 合計 約200点

そ の 他 館内のミュージアムショップでは、同期間中にひなまつり関連の特別グッズを頒布します



展示風景

4. 陶芸文化講座

趣 旨

やきものに関する知識の普及を図るため、一般の方々を対象に「陶芸文化講座」を開催いたします。

〈開催趣旨より〉

主 催 佐賀県立九州陶磁文化館

会 場 一般研修室

日 時 第1回 平成21年2月28日(土)

10:00～12:00

第2回 平成21年2月28日(土)

14:00～16:00

講 師 学芸員 家田 淳一

学芸員 藤原 友子

テ ー マ 「名品にふれて観る」

対 象 陶芸文化に関心を持つ一般の方々

定 員 第1回～2回いずれも各20名ずつ
(応募者多数の場合は抽選とする)

参 加 費 無料

内 容 古陶磁を安全に手に取って見る場合のマナーを実習し、実際に名品を手に取って鑑賞していただきます。また、作品を通して、やきものの歴史的な変遷を講義します。

実習作品 佐賀県立九州陶磁文化館所蔵の古陶磁約10点(唐津焼、有田焼、鍋島焼、三川内焼、高取焼、八代焼、薩摩焼など)

応募方法 往復はがきに住所、氏名、電話番号および希望回を明記のうえ申し込む。

応募期間 平成21年1月21日(水)～2月16日(月)

参 加 者 36名

5. 博物館実習

趣 旨 博物館実習をする大学生を対象に、館の運営・資料の収集・展示・保管などについて指導する。

カリキュラム

講 義	館の運営の概要と施設の見学	2時間
	陶磁概論	4時間30分
	陶磁資料の取り扱い方	3時間
	古窯跡の保存と活用	4時間30分
	展示会の企画・実施について	3時間
実 習	展示実習	4時間30分
	展示案内の方法	3時間
	陶片整理	7時間30分
	展示室収蔵庫等整理	3時間

図書整理	4時間30分
陶芸実習	4時間30分
収蔵庫等整理	3時間
広報活動について	3時間
古陶磁の鑑識	4時間30分
ポスター・チラシ発送準備	4時間30分
資料の安全対策について	3時間
古窯跡見学	3時間

期 間 平成20年7月28日(月)～8月8日(金)
受 講 者 佐賀大学、九州産業大学、京都造形芸術大学の3大学計3名

6. 印刷物等の刊行

(1) 古伊万里の見方シリーズ(5)「形と用途」

発行：平成20年10月31日

規格：A5判 40ページ

図版：オールカラー写真・図版 約130点

価格：800円

内容： このシリーズは、伊万里焼の体系的収集品として知られる柴田夫妻コレクション約1万点を活用して、江戸時代の有田焼を様々な視点から分かりやすく解説するものです。シリーズ1「種類」、シリーズ2「成形」、シリーズ3「装飾」、シリーズ4「窯詰め」と続き今回は「形と用途」という視点で編集しました。このシリーズによって、江戸時代の有田焼をより深く理解していただき、親しんでいただく一助になれば幸いです。



表紙

(3) 年報・資料目録 第27号

発行：平成20年6月20日

規格：A4版 50ページ

図版：モノクロ図版50点

内容： 平成19年度業務概要の報告及び収蔵資料を分類別に掲載

(4) 館報「セラミック九州」45号

発行：平成21年3月31日

規格：A4版 8ページ

図版：オールカラー写真図版31点

内容： 開館30周年プレイベント「私が選んだ九陶のやきもの」展・他テーマ展等のお知らせ、また「土の美 古唐津、肥前陶器のすべて―」展・テーマ展・共催展の報告、調査報告他

7. 資料鑑識

平成20年4月1日～21年3月31日

本館での鑑識依頼 210組(692件)

※このうち平成20年5月3日～5月5日の陶器市期間

中「古陶磁相談室」を開催

相談者 27組(91件)

その他に、手紙等での鑑識依頼 96件あり

●教育委員会関係の鑑識は、調査協力に記載した。

8. 講演など

No.	期 日	演 題	場 所	対 象	講 師
1	H20.5.14	「肥前の鉄絵」	主催 場所 肥前古陶磁同好会 和多屋別荘（嬉野市）	肥前古陶磁同好会会員	副館長鈴田由紀夫
2	H20.6.22	「近代の佐賀県陶芸について」	主催 場所 佐賀美術協会 若楠会館（佐賀市）	佐賀美術協会会員	副館長鈴田由紀夫
3	H20.6.25	「江戸時代、国交回復以後の日朝焼き物交流」	主催 場所 志道公民館 志道公民館（唐津市）	市民	学芸員家田淳一
4	H20.7.3	「佐賀県のやきもの」	主催 場所 佐賀市立昭栄中学校 昭栄中学校（佐賀市）	5年生	学芸員藤原友子
5	H20.7.11	「焼き物について」	主催 場所 武雄青陵中学校 武雄青陵中学校（武雄市）	1年生	学芸員藤原友子
6	H20.7.23	「明治・大正・昭和の有田について」	主催 場所 有田古陶磁研究会 九州陶磁文化館	有田古陶磁研究会会員	副館長鈴田由紀夫
7	H20.7.25	九州の陶磁器について	主催 場所 有田町どっとこむ 九州陶磁文化館	有田町どっとこむ	副館長鈴田由紀夫
8	H20.8.10	「土の美 古唐津」	主催 場所 伊万里市教育委員会 生涯学習センター（伊万里市）	市民	副館長鈴田由紀夫
9	H20.8.31	「土の美 古唐津—肥前陶器のすべて—」	主催 場所 表千家同門会福岡支部 ホテルマリターレ 創世（久留米市）	市民	副館長鈴田由紀夫
10	H20.9.9	「佐賀のやきもの」	主催 場所 佐賀長寿社会振興財団 鹿島市生涯学習センター	佐賀県高齢者 大学生	学芸員家田淳一
11	H20.10.1	「土の美 古唐津—肥前陶器のすべて—」	主催 場所 アバンセ アバンセ（佐賀市）	市民	学芸員家田淳一
12	H20.10.10	「唐津焼と有田焼」	主催 場所 六日会 究林登（有田町）	六日会会員	副館長鈴田由紀夫
13	H20.10.11	「ひと・もの作り唐津」プロジェクトシンポジウムパネリスト	主催 場所 佐賀大学「ひと・もの作り唐津」プロジェクト 九州陶磁文化館	唐津焼人材養成 講座受講者	副館長鈴田由紀夫
14	H20.10.15	「土の美 古唐津—肥前陶器のすべて—」	主催 場所 大坪塾 大坪公民館（伊万里市）	大坪塾塾生	学芸員家田淳一
15	H20.9.9	「土の美 古唐津—肥前陶器のすべて—」	主催 場所 佐賀長寿社会振興財団 鹿島市生涯学習センター	佐賀県高齢者 大学生	学芸員家田淳一
16	H20.10.30	「佐賀県の陶磁文化と伝統について」	主催 場所 佐賀県工業技術センター グランデはがくれ（佐賀市）	全国公認鉦工業試験研究 機関事務連絡会議参加者	副館長鈴田由紀夫
17	H20.11.25	「佐賀県の焼き物」	主催 場所 佐賀県教育庁 県庁（佐賀市）	佐賀県公立学校教頭	副館長鈴田由紀夫
18	H21.1.22	「近代の有田焼」	主催 場所 有田陶交会 大正屋（嬉野市）	有田陶交会会員	副館長鈴田由紀夫
19	H21.2.22	「唐津・有田の茶陶」	主催 場所 茶道表千家淡交会佐賀支部 メートプラザ佐賀（佐賀市）	表千家淡交会 佐賀支部会員	副館長鈴田由紀夫
20	H21.3.1	「近代の黒牟田山窯場情景」	主催 場所 (有)しん窯 (有)しん窯（有田町）	陶芸教室受講者	副館長鈴田由紀夫
21	H21.3.15	「陶磁器から見た伝統文化」	主催 場所 佐賀新聞社 佐賀新聞社（佐賀市）	手鏡婦人のつどい 参加者	副館長鈴田由紀夫

調査研究活動

1. 調査

No.	目 的	調 査 地	調 査 者
1	館蔵資料の文化財用CTスキャンによる分析調査	九州国立博物館（福岡県）	鈴田由紀夫 藤原 友子
2	上田家高浜焼調査	熊本県天草市	大橋 康二 鈴田由紀夫
3	大谷焼調査	徳島県鳴門市	鈴田由紀夫
4	瀬戸・美濃地域の近代輸出品調査	岐阜県瑞浪市・愛知県瀬戸市	家田 淳一
5	展覧会資料調査	東京都	家田 淳一

2. 調査協力

◎ 調査協力（館外出張）

	内 容	期 日	場 所	依 頼	担 当 者
1	第1回陶磁ネットワーク会議	H20.4.26～4.27	愛知県陶磁資料館	陶磁ネットワーク会議	鈴田由紀夫
2	工芸技術記録映画「白磁―井上萬二のわざ」第1回制作委員会	H20.7.7	文化庁（東京都）	文化庁文化財部	鈴田由紀夫
3	工芸技術記録映画「白磁―井上萬二のわざ」第2回制作委員会	H20.8.5	文化庁（東京都）	文化庁文化財部	鈴田由紀夫
4	工芸技術記録映画「白磁―井上萬二のわざ」第3回制作委員会	H20.9.12	文化庁（東京都）	文化庁文化財部	鈴田由紀夫
5	工芸技術記録映画「白磁―井上萬二のわざ」第4回制作委員会	H21.1.15	アオイスタジオ（東京都）	文化庁文化財部	鈴田由紀夫
6	平成20年度九州各県・政令指定都市博物館連絡会議	H21.1.15～1.16	鹿児島県立埋蔵文化財センターほか	九州各県・政令指定都市博物館連絡会議	宇治 章
7	工芸技術に関する調査等協議及び記録映画「白磁―井上萬二のわざ」制作協議	H21.1.15	文化庁及びアオイスタジオ（東京都）	文化庁文化財部	鈴田由紀夫

資料収集活動

1. 陶磁資料の収集

平成20年度は寄贈資料415件695点を収蔵した。

2. 図書資料の収集

報告書	604冊
目 録	15冊
紀 要	144冊
海 外	16冊
図 録	157冊
年 報	128冊
一般図書	44冊
その他	85冊
合 計	1,193冊

佐賀県立九州陶磁文化館資料目録 平成20年度（2008.4～2009.3）

凡 例 415件695点

1. この資料目録は、平成20年度（2008.4～2009.3：平成21年3月31日現在）の収蔵資料415件695点（寄贈）を掲載した。

購入	0件	0点
寄贈	415件	695点

平成20年度末の館蔵品総数は 7,829件 17,112点 である。

2. 「収蔵番号」は、収蔵登録番号と収蔵年度で〈0000－20〉と表示した。
3. 法量は、口径に胴径、最大径を、高さに蓋付総高を（ ）で記入する場合がある。
4. 平成16年度分類より大区分の一部を変更した。
 1. 「近代資料」（旧：幕末・近代資料）は、以下の2項目とする。
 130. 佐賀県 近代 （旧：幕末・近代資料 佐賀県）
 140. 九州（県外）近代 （旧：幕末・近代資料 九州（県外））
 2. 「九州以外 他」を旧「幕末・近代資料」から分離、新たにつくり時代順とした。
 150. 九州以外 近世 （旧160. 九州以外の陶磁器）
 160. 九州以外 近代 （旧150. 幕末・近代資料 九州以外）
 170. 陶磁器関連資料（文書・図案など）
5. 以上の作業にともない、分類内容を再確認したため、項目により件数の増減がみられるが、総件数は同じである。
6. 平成20年度に該当のない分類項目は、目録から省略している。
7. 現代作家作品については、「産地」に「作家名」と「県名」を入れた。

佐賀県立九州陶磁文化館資料目録

平成20年度（2008.4～2009.3）

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
[011.唐津系陶器]								
7550 -20	刷毛目壺	1	肥前・唐津	18世紀	13.8	23.8	11.1	(寄贈) 爲近 美榮
7570 -20	鉄釉甕	1	肥前・唐津	17世紀末～18世紀前半	17.3	24.6	14.0	(寄贈) 爲近 美榮
7571 -20	刷毛目小皿	1	肥前	17世紀末～18世紀前半	11.5	3.0	5.6	(寄贈) 爲近 美榮
[021.初期伊万里様式]								
7548 -20	染付葉文小皿	1	肥前・有田窯	1630～40年代	15.3	4.2	5.0	(寄贈) 爲近 美榮
[033.古伊万里・寛文様式]								
7746 -20	染付岩牡丹鳥文大皿(芙蓉手)	1	肥前・有田	1660～70年代	32.5	6.2	16.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[035.古伊万里・元禄様式]								
7439 -20	色絵赤玉紗綾形文小皿	1	肥前・有田窯	1700～30年代	14.6	3.2	7.1	(寄贈) 百溪 正明
7560 -20	青磁色絵龍宝文輪花小皿	5	肥前・有田窯	1690～1710年代	15.2	2.4	8.6	(寄贈) 爲近 美榮
[038.古伊万里・文政様式]								
7440 -20	染付楼閣山水文輪花角皿	1	肥前・有田窯	1820～60年代	30.4×25.2	5.2	14.4	(寄贈) 千住 雅博
7441 -20	染付楼閣山水扇文輪花角皿	1	肥前・有田窯	1820～60年代	30.2×25.2	4.9	14.4	(寄贈) 千住 雅博
7447 -20	染付岩松文蓋付碗	1	肥前系	1820～60年代	10.9	5.8/7.3(蓋)	4.4	(寄贈) 宮田 衛
7552 -20	色絵蔬菜昆虫文輪花小皿	1	肥前	1820～60年代	14.9	3.0	9.5	(寄贈) 爲近 美榮
7561 -20	染付仙人文小皿	5	肥前系	1820～60年代	8.8	3.1	4.7	(寄贈) 爲近 美榮
7711 -20	色絵蓋物の身	1	肥前・有田	1840～60年代	26.4	9.8	12.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7719 -20	色絵鯉文角皿	1	肥前・有田	1820～60年代	31.5×23.5	4.6	15.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7748 -20	色絵牡丹鳳凰文大皿	1	肥前・有田	1820～60年代	37.5	7.0	19.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7750 -20	色絵草花文輪花小皿	5	肥前・有田	1820～60年代	15.3	3.6	9.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7751 -20	色絵青磁瓢箪花蝶文輪花皿	8	肥前・有田	1820～60年代	15.3	4.0	8.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7752 -20	染付青磁瓢箪文輪花皿	10	肥前・有田	1820～60年代	15.2	4.0	8.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7757 -20	染付草花鳥文角香炉	1	肥前・有田	1820～60年代	12.8×11.6	9.5	8.5×8.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7763 -20	染付牡丹唐草文小杯	10	肥前・有田	1820～60年代	4.8	3.7	2.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7778 -20	染付蝶文牡丹花形皿(大)	9	肥前・大川内山	1840～60年代	19.3	4.3	9.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7779 -20	染付蝶文牡丹花形皿(中)	8	肥前・大川内山	1840～60年代	16.0	3.6	8.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7780 -20	染付蝶文牡丹花形皿(小)	9	肥前・大川内山	1840～60年代	14.2	2.3	7.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7827 -20	白磁碗	2	肥前・有田	19世紀前半～中葉	12.8	6.8	6.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7828 -20	白磁碗	8	肥前・有田	19世紀前半～中葉	11.8	6.5	6.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[051.鍋島藩窯様式]								
7747 -20	染付葡萄文輪花小皿	1	肥前・大川内山	1820～60年代	14.6	5.5	7.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7783 -20	青磁獅子置物	1	肥前・鍋島藩窯	18世紀後半～19世紀前半	—	19.8	14.1×11.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[070.福岡の陶磁器]								
7568 -20	鉄釉白釉流壺	1	福岡か	19世紀	17.7	25.6	12.5	(寄贈) 爲近 美榮
[110.鹿児島陶磁器]								
7564 -20	染付青海波文小壺	1	薩摩・平佐窯	19世紀初～幕末	5.6	6.7	4.6	(寄贈) 爲近 美榮
7565 -20	染付蕉葉文小壺	1	薩摩・平佐窯	19世紀末～幕末	6.2	7.1	4.8	(寄贈) 爲近 美榮
7569 -20	鉄釉灰釉流甕	1	薩摩か	19世紀	20.0	19.1	13.7	(寄贈) 爲近 美榮
7573 -20	鉄釉碗	1	九州系(南部)	19世紀	12.1	5.5	5.2	(寄贈) 爲近 美榮
[130.佐賀県 近代]								
7416 -20	釉描彩牡丹鳥文三足鉢	1	肥前・有田 深瀬竹治(宗竹)(1848?～1897)	明治10～20年代	17.7	8.0	7.8×7.8×8.0	(寄贈) 竹田礎智夫

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7432 -20	染付花文鉢(型紙摺)	1	肥前・有田窯	明治	28.0	8.3	13.0	(寄贈) 爲近 美榮
7433 -20	染付竹雀文火入(型紙摺)	1	肥前・有田窯	明治	8.2	7.1	10.2	(寄贈) 爲近 美榮
7434 -20	染付山水文角皿(銅版転写)	1	肥前・有田窯	明治後半～大正	27.2×27.2	4.3	15.8	(寄贈) 爲近 美榮
7435 -20	灰釉貼付貝文匏形皿	2	肥前・大川内山・肥前官窯・柴田善平	明治	20.5×17.4	4.2	—	(寄贈) 百溪 正明
7436 -20	染付楼閣山水文皿(銅版転写)	1	肥前・有田・城島窯	明治～大正	18.7	3.0	11.0	(寄贈) 百溪 正明
7437 -20	色絵梅樹文小鉢	1	肥前 嬉野・源六焼	昭和	10.5	4.9	5.6	(寄贈) 百溪 正明
7438 -20	染付蘭文猪口	1	肥前・大川内山	幕末～明治	7.3	5.1	2.8	(寄贈) 百溪 正明
7446 -20	染付草花文小碗	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	9.6	6.0	3.5	(寄贈) 宮田 衛
7448 -20	白磁掛分陽刻花文輪花小鉢	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	10.2	6.0	4.6	(寄贈) 萩谷 茂行
7449 -20	染付陽刻波文湯匙形小鉢	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	13.6×9.2	6.6	6.1×5.3	(寄贈) 萩谷 茂行
7450 -20	青磁唐花唐草文変形小鉢	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	10.2×9.6	6.3	4.2	(寄贈) 萩谷 茂行
7451 -20	色絵薔薇紅葉蝶文輪花小鉢	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	10.9×10.6	5.6	4.8	(寄贈) 萩谷 茂行
7452 -20	染付梅樹文変形小鉢	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	10.8×10.7	6.0	5.0	(寄贈) 萩谷 茂行
7453 -20	釉下彩果木文三角小鉢	1	肥前・塩田・永田製陶所	昭和15～20年頃	12.4	7.8	5.2	(寄贈) 萩谷 茂行
7454 -20	色絵陽刻菊文輪花小鉢	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	11.0	6.0	4.0	(寄贈) 萩谷 茂行
7455 -20	青磁鉄斑文陽刻果物形小鉢	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	9.2×9.0	5.0	4.0	(寄贈) 萩谷 茂行
7456 -20	青磁色絵釉下彩梅樹文蓋付碗	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	9.4(蓋10.3)	6.7(蓋9.0)	3.7	(寄贈) 萩谷 茂行
7457 -20	釉下彩線条文碗(国民食器)	1	肥前・塩田・永田製陶所	昭和15～20年頃	11.1	5.6	4.2	(寄贈) 萩谷 茂行
7458 -20	釉下彩線条文碗(工業食器)	1	肥前・塩田・志田陶磁器	昭和15～20年頃	12.4	6.2	5.0	(寄贈) 萩谷 茂行
7459 -20	釉下彩線条文湯呑(国民食器)	1	肥前・塩田・永田製陶所	昭和15～20年頃	7.2	7.2	3.8	(寄贈) 萩谷 茂行
7460 -20	染付桜花文碗	1	肥前・有田・深川製磁	昭和15～20年頃	8.1	5.0	3.0	(寄贈) 萩谷 茂行
7461 -20	色絵唐子文碗	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	8.5	5.4	3.4	(寄贈) 萩谷 茂行
7462 -20	染付仙人文碗	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	11.3	5.6	4.0	(寄贈) 萩谷 茂行
7463 -20	染付蘭文皿	1	肥前・塩田・志田陶磁器	昭和15～20年頃	18.8	4.5	9.6	(寄贈) 萩谷 茂行
7464 -20	色絵七宝花文変形小皿	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	13.7×11.5	3.0	6.8	(寄贈) 萩谷 茂行
7466 -20	染付笹文変形小皿	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	14.6×11.1	3.7	6.2	(寄贈) 萩谷 茂行
7467 -20	染付山水文角小皿	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	13.9×14.0	3.1	6.9	(寄贈) 萩谷 茂行
7468 -20	色絵東屋山水文輪花皿	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	18.6	3.8	9.5	(寄贈) 萩谷 茂行
7469 -20	青磁染付色絵陽刻蘭文輪花皿	1	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	18.7	3.6	9.3	(寄贈) 萩谷 茂行
7470 -20	染付線条文皿	1	肥前・有田・深川製磁	昭和15～20年頃	21.4	2.6	13.4	(寄贈) 萩谷 茂行
7472 -20	染付山水文花瓶	2	肥前・有田窯	昭和15～20年頃	3.4	13.1	6.2	(寄贈) 萩谷 茂行
7473 -20	色絵龍貼付牡丹鳥人物文筒形大瓶	1	肥前・有田・深川製	明治初期	22.6	76.5	21.4	(寄贈) 柴田 祐子
7474 -20	色絵双鶴人物文筒形瓶	1	肥前・有田窯	明治	14.3	38.3	13.8	(寄贈) 柴田 祐子
7475 -20	色絵鳳凰獅子牡丹鶴亀文大皿	1	肥前・有田窯	明治	62.1	7.8	33.3	(寄贈) 柴田 祐子
7476 -20	色絵鳳凰桜樹群馬文三ツ組鉢	3	肥前・有田窯	明治	24.5	9.3	10.2	(寄贈) 柴田 祐子
7477 -20	色絵弓矢兎文三ツ組鉢	3	肥前・有田窯	明治	25.2	8.6	15.7	(寄贈) 柴田 祐子
7553 -20	染付牡丹鳥文角皿(型紙摺)	1	肥前・有田窯	明治	26.8×26.6	5.0	15.0	(寄贈) 爲近 美榮
7554 -20	染付芭蕉鳥文大皿(型紙摺)	1	肥前・有田窯	明治	30.8	5.6	18.3	(寄贈) 爲近 美榮
7555 -20	染付牡丹文輪花大皿(銅版転写)	1	肥前・有田窯	明治後半～大正	31.5	5.4	16.8	(寄贈) 爲近 美榮
7556 -20	染付楼閣山水文角大皿	1	肥前・有田窯	明治	32.3×33.0	5.9	19.5	(寄贈) 爲近 美榮
7557 -20	染付松竹梅文大皿(型紙摺)	1	肥前・志田窯	明治	35.8	5.1	20.0	(寄贈) 爲近 美榮
7558 -20	染付花唐草文鉢(銅版転写)	1	肥前・有田窯	明治～大正	29.5	10.1	14.0	(寄贈) 爲近 美榮
7559 -20	染付鯉文鉢(型紙摺)	1	肥前・有田窯	明治	22.5	6.5	12.2	(寄贈) 爲近 美榮
7562 -20	染付印文小皿	5	肥前系	19世紀後半	9.6	2.0	5.4	(寄贈) 爲近 美榮

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7563 -20	青磁鉄絵流水文鮑形三足皿	5	肥前・大川内山	明治	16.6×12.5	3.7	脚間6.1	(寄贈) 爲近 美榮
7588 -20	白磁碗「大脇精製」(大・小)	2	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	(大)15.0/(小)14.4	(大)9.9/(小)9.3	(大)7.4/(小)7.2	(寄贈) 小田 勝良
7589 -20	白磁鉢「大脇精製」(大・中・小)	3	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	(大)19.3/(中)17.5/(小)15.9	(大)8.5/(中)7.6/(小)7.1	(大)9.2/(中)8.4/(小)7.3	(寄贈) 小田 勝良
7590 -20	白磁鉢「大野精製」	1	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	17.8	7.6	7.4	(寄贈) 小田 勝良
7591 -20	白磁碗「大音精製」(大・小)	2	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	(大)14.3/(小)12.5	(大)9.0/(小)7.9	(大)6.8/(小)5.6	(寄贈) 小田 勝良
7592 -20	白磁鉢「大音精製」(大・中・小)	3	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	(大)17.5/(中)15.2/(小)12.5	(大)8.5/(中)7.6/(小)7.1	(大)7.5/(中)6.4/(小)5.2	(寄贈) 小田 勝良
7593 -20	白磁碗「大音」	1	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	12.3	8.0	5.6	(寄贈) 小田 勝良
7594 -20	白磁鉢「大乙精製」	1	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	13.9	6.3	5.7	(寄贈) 小田 勝良
7595 -20	白磁碗「重茂精製」(大・小)	2	肥前 嬉野 吉田	明治末から大正	(大)15.5/(小)14.2	(大)9.1/(小)8.8	(大)6.7/(小)6.3	(寄贈) 小田 勝良
7604 -20	染付山水詩句文蓋付碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	12.1	7.6/(蓋)9.7	4.4	(寄贈) 小田 勝良
7605 -20	染付山水詩句文蓋付碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	10.3	6.8/(蓋)9.0	4.0	(寄贈) 小田 勝良
7606 -20	染付山水文蓋付碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	12.5	6.9/(蓋)9.5	4.9	(寄贈) 小田 勝良
7607 -20	染付山水文蓋付碗(ゴム版染付)(大・小)	2	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	(大)12.0/(小)11.1	(大)7.5/(蓋)8.7/(小)5.9/(蓋)7.8	(大)5.0/(小)4.6	(寄贈) 小田 勝良
7608 -20	染付山水文蓋付碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田あるいは波佐見焼	昭和前期	10.5	5.9/(蓋)8.0	4.6	(寄贈) 小田 勝良
7609 -20	染付山水文蓋付碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.1	5.6/(蓋)8.0	4.6	(寄贈) 小田 勝良
7610 -20	染付浦島文飯碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	12.4	6.3	5.2	(寄贈) 小田 勝良
7611 -20	染付山水文飯碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.7	5.9	4.1	(寄贈) 小田 勝良
7612 -20	染付山水文飯碗(ゴム版染付)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.1	5.7	4.7	(寄贈) 小田 勝良
7613 -20	色絵山水文蓋付碗	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.1	5.9/(蓋)8.0	4.7	(寄贈) 小田 勝良
7614 -20	色絵山水文飯碗	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.2	6.1	4.9	(寄贈) 小田 勝良
7615 -20	色絵桐鳳凰文蓋付碗	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.3	5.9/(蓋)7.9	3.9	(寄贈) 小田 勝良
7616 -20	色絵雪輪花卉文蓋付碗	2	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.3	5.7/(蓋)8.2	3.7	(寄贈) 小田 勝良
7617 -20	青磁色絵亀甲文蓋付碗	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.4	5.7/(蓋)8.2	4.0	(寄贈) 小田 勝良
7618 -20	青磁色絵打出小槌文蓋付碗	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.6	6.0/(蓋)7.8	4.2	(寄贈) 小田 勝良
7619 -20	釉下彩牡丹文蓋付碗	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	10.9	5.9/(蓋)8.3	4.5	(寄贈) 小田 勝良
7620 -20	染付線条文蓋付飯	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.3	5.4/(蓋)7.3	3.9	(寄贈) 小田 勝良
7621 -20	染付飛魚文蓋付碗	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.3	5.8/(蓋)8.2	5.0	(寄贈) 小田 勝良
7622 -20	染付水玉文飯碗	1	肥前 嬉野	昭和30年代	11.6	5.7	4.2	(寄贈) 小田 勝良
7623 -20	染付富士山文飯碗(スプレー彩)	1	肥前 嬉野もしくは志田	昭和前期	11.0	5.6	3.6	(寄贈) 小田 勝良
7625 -20	色絵藤文碗	1	肥前か	昭和初期	11.8	5.9	5.6	(寄贈) 小田 勝良
7626 -20	色絵花文碗	1	肥前か	昭和初期	11.4	5.8	5.5	(寄贈) 小田 勝良
7627 -20	色絵菖蒲文碗	1	肥前か	昭和初期	11.9	5.9	5.6	(寄贈) 小田 勝良
7628 -20	色絵朝顔文碗	1	肥前か	昭和初期	11.8	5.8	5.6	(寄贈) 小田 勝良
7638 -20	色絵宝珠鳳凰文家紋入チューリップ瓶	1	肥前・有田・肥礫山信甫	19世紀後半	最大径30.8	27.0	14.5×11.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7639 -20	色絵青磁蔬菜文角皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	明治～大正	16.1×15.7	4.2	8.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7640 -20	色絵江戸人物文蓋物	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	27.6	8.7/13.1	18.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7641 -20	色絵草花文水差し	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	16.0	30.5	10.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7642 -20	色絵水切(部分)	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	31.2×25.7	1.7	31.0×25.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7643 -20	色絵柘榴文家紋入台付透皿(コンボート)	2	肥前・有田・肥礫山信甫	19世紀後半	23.8	16.7	11.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7644 -20	染付山水文手付壺	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	14.5	26.0	16.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7645 -20	染付西洋風景文手付壺	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	16.4	30.5	18.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7646 -20	色絵果実文皿	11	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	23.7	3.1	14.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7647 -20	色絵果実文深皿	6	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	23.7	3.5	13.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7648 -20	色絵果実文中皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	21.0	2.6	12.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7649 -20	色絵果実文小皿	2	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	18.1	2.1	10.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7650 -20	色絵果実文小皿	5	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	17.9	2.5	12.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7651 -20	色絵果実文楕円大皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	56.0×39.0	7.0	41.0×26.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7652 -20	色絵果実文小鉢	5	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	14.0	6.6	9.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7653 -20	色絵果実文葉形皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	27.2×14.6	5.5	14.7×8.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7654 -20	色絵果実文コーヒースタンプ	2	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	碗 8.6 皿 13.7	5.4 2.8	4.2 7.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7655 -20	色絵果実文コーヒースタンプ	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	7.0/19.9	17.4/21.0	9.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7656 -20	色絵果実文砂糖ボット	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	7.6/17.7	11.7/15.7	9.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7657 -20	色絵果実文透楕円鉢	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	30.7×12.0	9.0	14.4×9.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7658 -20	色絵果実文蓋物(チュリーン)	2	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	22.8×14.7/32.4×18.2	9.1/16.7	16.9×10.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7659 -20	色絵果実文ソース入(グレイビーボート)	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	18.3×6.2/19.6×8.2	14.4	9.5×6.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7660 -20	色絵果実文蓋物(バター入)	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	21.0×13.5	8.0	13.7×9.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7661 -20	染付唐草文楕円大皿	1	肥前・有田	1840～70年代	50.7×43.6	5.5	36.0×30.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7662 -20	色絵花弁窓絵鶴鳳凰文大皿	1	肥前・有田	1850～70年代	51.0	8.2	29.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7663 -20	色絵樹下人物文花瓶	2	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	17.8/24.7	55.8	13.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7664 -20	色絵草花鳳凰文家紋入台付透菱形鉢	2	肥前・有田・肥礫山信甫	明治	28.8×20.5	22.5	14.6×11.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7665 -20	色絵武者絵文蓋付小壺	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	5.6/9.8	11.9/16.3	5.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7666 -20	色絵瑞獣文花瓶	2	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	11.1	27.1	11.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7667 -20	染付花鳥文蓋物(チュリーン)	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	16.9×11.7/20.1×12.7	8.0/12.9	13.1×9.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7668 -20	色絵江戸美人文盆	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	38.8×33.0	4.0	23.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7669 -20	染付竹鳥文花瓶	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	12.7/16.0	37.4	11.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7670 -20	色絵色紙短冊文大花瓶	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	25.0	58.4	19.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7671 -20	色絵牡丹窓絵山水文楕円大皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	42.8×36.2	5.1	27.4×22.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7672 -20	色絵孔雀牡丹文盆	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	39.1×33.0	6.0	24.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7673 -20	色絵草花文蓋物(チュリーン)	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	23.2/28.5	9.1/16.3	16.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7674 -20	色絵武者絵文大皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	36.0	5.2	21.9	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7675 -20	色絵扇団扇冊子文皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1860～80年代	27.0	5.0	15.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7676 -20	色絵牡丹文線香筒	1	肥前・有田・肥礫山信甫	19世紀後半	5.3	9.6	5.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7677 -20	色絵竹鳥文線香筒	1	肥前・有田・肥礫山信甫	19世紀後半	5.2	9.6	5.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7678 -20	色絵牡丹孔雀文台付皿(コンボート)	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	21.0	19.3	15.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7679 -20	色絵王朝人物絵壺	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	11.6/18.3	21.2	8.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7680 -20	染付花唐草文深鉢	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	20.6	9.5	7.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7681 -20	染付草花文輪花小皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	13.7	2.4	7.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7682 -20	色絵孔雀文蓋付碗	2	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	9.1	5.3/7.4	3.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7683 -20	色絵牡丹孔雀文碗	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	9.6	5.4	3.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7684 -20	色絵人物文皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1840～70年代	16.7	3.4	9.9	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7685 -20	色絵人物牡丹文六角花瓶	1	肥前・有田・肥礫山信甫	1850～70年代	20.8	41.0	10.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7686 -20	色絵人物草花文八角皿	1	肥前・有田・肥礫山信甫	19世紀後半	36.0	6.1	18.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7687 -20	緑釉丸瓦	6	肥前・有田・肥礫山信甫	明治30年代	39.1×17.4	9.5	—	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7689 -20	白磁徳利	1	肥前・有田	19世紀後半	6.5/20.1	34.4	12.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7690 -20	染付窓絵唐草文大皿	1	肥前・有田	明治～大正	46.6	6.5	27.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7691 -20	白磁楕円大皿	1	肥前・有田	1840～90年代	51.8×46.5	7.0	32.3×28.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7692 -20	白磁楕円大皿	1	肥前・有田	1840～90年代	47.4×41.0	6.5	28.5×24.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7693 -20	白磁龍貼付徳利	1	肥前・有田	19世紀	8.0/25.5	39.7	18.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7694 -20	染付扇団扇文蓋物	1	肥前・有田	1840～70年代	17.1/19.0	13.0	18.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7695 -20	染付捻花鶴亀甲文大皿	1	肥前・有田	19世紀後半	40.4	6.2	22.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7696 -20	染付唐花蝙蝠文大鉢	1	肥前・有田	1840～70年代	41.7	14.1	21.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7697 -20	染付窓絵山水文壺	1	肥前・有田	19世紀後半	12.0/22.0	27.0	9.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7698 -20	染付窓絵文瓶	1	肥前・有田	明治	11.9	30.1	11.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7699 -20	染付窓絵文壺	1	肥前・有田	1840～70年代	16.3	48.5	17.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7700 -20	染付櫛目文大徳利	1	肥前・有田	明治	8.4/36.1	64.5	23.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7701 -20	染付窓絵四方割文瓶	2	肥前・有田	明治～大正	7.3/11.2	19.7	7.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7702 -20	白磁大徳利	1	肥前・有田	19世紀後半	7.0/23.3	37.3	14.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7703 -20	白磁甕	1	肥前・有田	明治～大正	31.1	27.8	20.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7704 -20	白磁甕	1	肥前・有田	明治～大正	23.6	18.8	13.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7705 -20	白磁六角碗	10	肥前・有田	1840～70年代	8.0	5.9	3.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7706 -20	白磁六角皿	5	肥前・有田	1840～70年代	13.2	2.0	6.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7709 -20	染付樹木文蓋付石罎入	1	肥前・有田・香蘭社	明治	15.1×12.1	6.3/10.3	13.7×10.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7710 -20	色絵花文燭台	1	肥前・有田	1840～70年代	3.2/19.2	16.6	6.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7712 -20	色絵人物果実草花文コーヒー碗	1	肥前・有田	1840～70年代	9.8	8.6	4.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7713 -20	染付松鶴文蓋物	1	肥前・有田	明治	8.2	10.8	9.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7714 -20	染付山水文手付蓋物	1	肥前・有田	明治	23.3	15.4/24.7	15.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7715 -20	染付鶴波涛文台付輪花皿(コンボート)	1	肥前・有田	1840～70年代	34.4	24.3	24.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7716 -20	染付花卉鳥文広口花瓶	1	肥前・有田	幕末～明治	31.6	32.3	15.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7717 -20	色絵波鶴文壺	1	肥前・有田	明治～大正	8.8/20.8	26.4	10.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7718 -20	青磁色絵詩句文耳付花瓶	1	肥前・有田	明治7年	14.0	40.8	12.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7720 -20	色絵草花文角大皿	1	肥前・有田	1850～70年代	40.4×40.5	6.8	22.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7721 -20	染付松竹梅文船形大鉢	1	肥前・有田	1840～70年代	72.0×42.1	27.2	43.5×30.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7722 -20	色絵小壺の蓋	1	肥前・有田	1840～70年代	7.9	6.1	5.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7724 -20	染付鶴草花文大深鉢	1	肥前・有田	1840～70年代	48.2	16.2	24.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7725 -20	色絵牡丹窓絵山水文深鉢	1	肥前・有田	1850～70年代	36.0	10.6	14.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7726 -20	色絵獅子牡丹文鉢	2	肥前・有田	明治	(大)24.6(中)21.8	(大)9.1(中)7.9	(大)14.0(中)12.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7727 -20	色絵捻花花鳥龍鳳凰鶴亀甲文大皿	1	肥前・有田	明治	41.3	6.1	22.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7728 -20	色絵鳳凰文小皿	1	肥前・有田	1840～70年代	10.8	2.5	5.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7729 -20	色絵武者人物文コーヒー碗	1	肥前・有田	19世紀後半	5.9/把手まで7.5	5.7	5.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7730 -20	色絵武者人物文コーヒー碗	1	肥前・有田	明治	6.0/把手まで7.7	6.1	5.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7731 -20	色絵人物牡丹孔雀文花瓶	1	肥前・有田	19世紀後半	12.0	28.2	8.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7732 -20	染付鯉波文瓶	4	肥前・有田	明治～大正	6.7/12.2	17.1	7.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7733 -20	染付松鶴文御神酒徳利	2	肥前・有田	明治～大正	4.5/10.7	15.0	8.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7734 -20	染付松竹梅文鬘盥	1	肥前・有田	1840～70年代	21.7×6.0	4.3	21.7×6.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7735 -20	染付松竹梅鶴文鬘盥	1	肥前・有田	明治	18.3×6.5	4.0	17.8×6.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7736 -20	染付松鶴文鬘盥	1	肥前・有田	明治	16.4×7.5	3.4	15.6×7.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7737 -20	染付竹梅鶴文鬘盥	1	肥前・有田	1840～70年代	14.0×6.4	3.5	14.0×6.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7738 -20	染付藤蝶文便器	1	肥前・有田	明治	39.0	42.3	8.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7739 -20	染付松鶴大黒文注口付壺	1	肥前・有田	明治	25.4/36.2	53.2	19.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7740 -20	色絵菊草花文コーヒー碗・皿	1	肥前・有田	1850～70年代	碗 8.7(把手まで)10.2 皿 13.2	5.7 2.0	3.7 6.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7741 -20	色絵武者絵文コーヒー碗・皿	1	肥前・有田	1840～70年代	碗 7.5(把手まで)9.0 皿 12.3	5.8 2.1	3.2 6.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7742 -20	色絵鶴文花瓶	1	肥前・有田	明治～大正	9.0	18.3	6.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7744 -20	白磁透彫三足鉢	1	肥前・有田	明治	24.7	13.4	14.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7745 -20	染付山水文急須	1	肥前	19世紀後半	8.1	22.8	9.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7749 -20	色絵龍唐獅子文鉢	1	肥前・有田	明治	23.4	8.5	12.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7753 -20	色絵鶴草花文蓋付碗	2	肥前・有田	明治	10.8	6.3/8.6	4.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7754 -20	色絵菊文蓋	1	肥前・有田	明治	10.3	3.1	4.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7755 -20	色絵菖蒲文皿	1	肥前・有田	明治～大正	14.8×14.9	4.1	9.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7756 -20	色絵仙人文蓋付碗	1	肥前・有田	明治～大正	11.6	6.2/8.0	4.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7758 -20	染付楼閣花唐草文輪花猪口	1	肥前・有田	昭和	8.8	7.0	4.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7759 -20	染付獅子舞文八角鉢	1	肥前・有田	明治～大正	15.7	5.5	8.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7760 -20	染付千鳥山水文八角鉢	1	肥前・有田	明治～大正	18.9	6.7	10.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7761 -20	色絵竹花唐草文輪花鉢	1	肥前・有田	明治～大正	14.4	5.0	5.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7762 -20	色絵鯉滝登蝶文小鉢	1	肥前・有田	明治～大正	13.4	5.5	6.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7764 -20	色絵桜樹馬文皿	4	肥前・有田	明治～大正	11.5	2.7	7.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7765 -20	染付烏梅牡丹菊文小壺	1	肥前・有田	明治～大正	15.3	12.1	9.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7766 -20	染付楼閣山水文皿	1	肥前・有田・江上	明治	23.3	5.3	12.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7767 -20	色絵銀杏文鉢	3	肥前・嬉野・富永源六	明治～大正	大22.6中19.5小16.9	大9.2中8.0小6.9	大11.3中10.3小8.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7768 -20	鉄釉陽刻牛童子文急須	1	肥前・大川内山・柴田善平	明治	7.3/把手まで20.0	総高14.5	11.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7769 -20	青磁菱形皿	7	肥前・大川内山・柴田善平	明治	17.1×13.4	2.9	11.9×9.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7770 -20	色絵鳳凰文火鉢	1	肥前・有田・手塚	明治	20.5/36.6	28.5	23.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7771 -20	染付鶴亀甲菊紋碗	2	肥前・有田	大正～昭和	10.2	4.0	4.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7772 -20	染付鶴七宝菊紋碗	1	肥前・有田	大正～昭和	10.0	3.6	4.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7773 -20	釉下彩唐草文香炉	1	肥前・有田・精磁会社	明治20年代	9.7	10.0	8.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7774 -20	鉄釉獅子置物	1	肥前・大川内山・宝山	昭和	28.2×15.7	26.1	23.8×16.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7775 -20	青磁花瓶	1	肥前・大川内山	明治～大正	13.0	41.8	10.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7776 -20	青磁火入(煙草盆)	1	肥前・有田	昭和	9.4(16.5)	6.2(8.6)	3.5(15.5)	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7777 -20	青磁散蓮華	10	肥前	19世紀	11.6×4.8	5.4	4.2×3.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7781 -20	色絵菊文急須	1	肥前・大川内山	19世紀	4.4/11.4	6.0/8.2	5.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7782 -20	青磁唐花唐草文水指	1	肥前・大川内山	明治～大正	9.1/16.0	16.7	9.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7784 -20	青磁樹枝文水注	1	肥前・大川内山	昭和	6.0/24.3	13.7/16.8	11.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7785 -20	青磁梅文掛花生	1	肥前	明治～大正	8.3×5.2	14.5	—	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7786 -20	青磁羅漢像	1	肥前・大川内山	明治	—	9.4	4.9×4.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7787 -20	青磁仙人像	1	肥前・大川内山	明治	—	7.3	5.6×4.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7788 -20	青磁大根文小皿	1	肥前・大川内山	19世紀	10.3	3.1	4.9	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7789 -20	青磁染付泊舟文蓋物	1	肥前・大川内山	明治～大正	8.7	6.0/8.5	4.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7790 -20	青磁小鉢	4	肥前・大川内山	明治～大正	8.0	3.7	3.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7791 -20	青磁小碗	1	肥前・大川内山	明治	7.8	5.7	3.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7792 -20	青磁隅入長皿	5	肥前・大川内山	明治～大正	17.7×12.4	4.0	8.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7793 -20	青磁隅入角皿	8	肥前・大川内山	明治～大正	16.0×12.6	4.0	8.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7794 -20	青磁木瓜形皿	5	肥前・大川内山	明治～大正	13.9×11.8	3.5	7.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7795 -20	青磁盃台	1	肥前・大川内山	19世紀	7.1	3.6	4.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7796 -20	青磁十二星形鉢	1	肥前・大川内山	19世紀	13.5	5.5	6.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7797 -20	青磁獅子置物	1	肥前・大川内山・小笠原長春	昭和	19.6×8.1	13.7	—	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7799 -20	青磁草花文壺	1	有田工業学校	大正	3.1/17.2	15.3	7.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7800 -20	白濁釉蓮蕾形小壺	1	有田工業学校	大正	1.8/8.3	12.1	8.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7801 -20	緑釉木実形小壺	1	有田工業学校	大正	1.7/10.5	11.8	10.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7802 -20	釉彩栗鼠文三段重	1	有田工業学校	大正	11.5×6.5	12.7	11.7×6.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7803 -20	釉彩鳥文壺	1	有田工業学校	大正	10・5/22.6	23.3	12.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7804 -20	白磁透彫葉文鉢	1	有田工業学校	大正	25.9	11.1	12.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7805 -20	染付桜鑑文急須	1	肥前・有田・深川製磁	昭和	6.5/16.7	10.0/11.4	8.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7806 -20	染付桜鑑文蓋物	1	肥前・有田	昭和	6.3	6.6/7.6	6.9	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7807 -20	白磁鉢	1	肥前・有田	昭和	30.3	10.3	14.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7808 -20	鉄釉大黒像	1	肥前・大川内山	明治～大正	—	22.7	9.8×8.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7809 -20	鉄釉恵比寿像	1	肥前・大川内山	明治～大正	—	22.0	9.0×5.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7810 -20	染付錆釉山水詩句彫文壺	1	肥前	昭和	8.3/19.2	24.0	14.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7811 -20	鉄釉山水彫文壺	1	肥前	昭和	8.1/19.3	23.8	14.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7812 -20	染付詩句文瓢形二段蓋物	1	肥前・有田	昭和11年	4.2	9.3	5.3	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7813 -20	染付松竹梅文徳利	1	肥前	19世紀	4.9/23.0	37.5	11.8	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7815 -20	灰釉碗	1	肥前	明治～大正	9.0	6.4	4.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7816 -20	灰釉茶碗	1	肥前・唐津	明治～大正	12.1	8.3	5.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7829 -20	白磁碗	2	肥前	1840～70年代	9.5	8.0	3.9	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[140.九州(県外) 近代]								
7465 -20	色絵扇文変形皿	1	肥前・波佐見窯	昭和15～20年頃	16.4×10.3	3.1	12.2×6.6	(寄贈) 萩谷 茂行
7471 -20	染付達磨文徳利	1	肥前・波佐見窯	昭和15～20年頃	2.6	14.9	4.6×4.6	(寄贈) 萩谷 茂行
7707 -20	白磁碗	70	肥前・三川内	1840～70年代	9.8	5.7	3.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7708 -20	白磁蓋付碗	12	肥前・三川内	1840～70年代	9.8	5.5/7.2	3.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7814 -20	色絵人物山水文碗	1	肥前・三川内山・田中	明治	9.5	5.3	3.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[150.九州以外 近世]								
7567 -20	緑釉三足皿	1	瀬戸・美濃	18～19世紀	21.0	4.2	脚間17.5	(寄贈) 爲近 美榮
7572 -20	灰釉壺	1	関西か	19世紀	11.5	16.7	9.6	(寄贈) 爲近 美榮
[160.九州以外 近代]								
7566 -20	染付仙芝文小碗	3	瀬戸・美濃	明治	8.6	4.1	3.5	(寄贈) 爲近 美榮
7596 -20	釉下彩福寿字文蓋物	1	瀬戸	昭和初期	14.2	8.7/(蓋)10.6	6.8	(寄贈) 小田 勝良
7597 -20	釉下彩福寿字文鉢	1	瀬戸	昭和16年から昭和20年	14.2	8.7/(蓋)10.6	6.8	(寄贈) 小田 勝良
7598 -20	色絵草花文鉢(大)	1	瀬戸	昭和初期(戦前)	17.4	7.2	6.9	(寄贈) 小田 勝良
7599 -20	色絵福字撫子文鉢(小)	1	瀬戸	昭和初期(戦前)	12.5	5.0	4.9	(寄贈) 小田 勝良
7600 -20	釉下彩福寿字文鉢(小)	1	瀬戸	昭和初期(戦前)	12.3	5.3	5.2	(寄贈) 小田 勝良
7601 -20	白磁鉢(小)	1	瀬戸	昭和16年から昭和20年	12.3	5.3	5.2	(寄贈) 小田 勝良
7602 -20	染付福寿字文碗(ゴム版染付)	1	瀬戸	昭和初期(戦前)	14.4	8.7	6.3	(寄贈) 小田 勝良
7603 -20	白磁碗	1	瀬戸	昭和初期(戦前)	14.8	8.1	6.0	(寄贈) 小田 勝良
7624 -20	釉下彩狼少年文飯碗(銅版転写)	1	瀬戸・美濃か	大正～昭和初期	11.1	5.6	3.6	(寄贈) 小田 勝良
7743 -20	色絵竹亀甲文段重	1	瀬戸・美濃か	大正～昭和	8.9×8.8	11.1	8.8×8.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7817 -20	緑釉龍文手塩皿	2	淡路・珉平焼	19世紀	9.8×7.6	1.6	—	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7818 -20	色絵菊牡丹文大皿	1	石川・九谷窯	19世紀後半	36.3	8.3	17.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7819 -20	色絵花鳥文小碗	1	石川・九谷窯	明治	7.6	4.0	3.9	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7820 -20	鉄釉茶入	1	瀬戸	明治	3.3	7.7	3.5	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[170.陶磁器関連資料]								
7688 -20	紙本淡彩陶磁器下絵	1	有田・田代助作	明治14年頃	下絵199.0×87.6 装幀 63.2×43.5			(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7826 -20	金彩唐草文蓋付ガラス瓶	1	ヨーロッパ	19世紀	2.7/8.7	13.8/18.4	5.7	(寄贈) 岩永 勢都子ほか

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
[180.中国の陶磁器]								
7431 -20	白磁皿	1	中国・景德鎮窯	16世紀	15.8	3.5	8.7	(寄贈) 爲近 美榮
7444 -20	褐釉壺	1	中国	17～18世紀	17.9/42.4(胴)	36.0	27.1	(寄贈) 千住 雅博
7445 -20	染付唐花文輪花小鉢	1	中国・景德鎮窯	18世紀末～19世紀	12.5	4.9	3.0	(寄贈) 千住 雅博
7549 -20	染付魚藻文小皿	1	中国・景德鎮窯	16世紀前半～中葉	12.2	3.3	3.1	(寄贈) 爲近 美榮
7551 -20	染付宝珠龍鳳凰文小皿	1	中国・漳州窯	17世紀前半	15.7	2.8	8.2	(寄贈) 爲近 美榮
7574 -20	染付竹草花岩文小皿	1	中国・福建	18世紀	15.4	2.7	8.5	(寄贈) 伊藤 豊吉
7575 -20	染付蘭詩句文小皿	1	中国・福建	18世紀	15.4	2.7	8.0	(寄贈) 伊藤 豊吉
7576 -20	染付梅鶯文小皿	1	中国・福建	18世紀	15.3	3.1	8.2	(寄贈) 伊藤 豊吉
7577 -20	染付城郭詩句文碗	1	中国・福建・広東	18世紀後半～19世紀前半	12.0	5.6	5.1	(寄贈) 伊藤 豊吉
7578 -20	染付唐草文碗	1	中国・福建	18世紀	11.0	4.7	5.1	(寄贈) 伊藤 豊吉
7579 -20	染付草花文広口鉢	1	中国・福建・広東	18世紀後半～19世紀前半	16.5	7.3	6.2	(寄贈) 伊藤 豊吉
7580 -20	染付花卉家屋山水文輪花小碗・小皿	4	中国・景德鎮窯	17世紀末～18世紀初	碗7.1、皿11.8	碗3.8、皿2.2	碗3.2、皿6.1	(寄贈) 伊藤 豊吉
7629 -20	色絵花鳥文碗	1	中国・景德鎮窯か	昭和初期(戦前)	11.6	5.9	5.0	(寄贈) 小田 勝良
7630 -20	色絵婦人童子文碗(ワレを接合)	1	中国・景德鎮窯	昭和初期(戦前)	12.5	6.0	4.7	(寄贈) 小田 勝良
7631 -20	色絵山水文碗	1	中国・景德鎮窯か	昭和初期(戦前)	11.5	5.6	4.5	(寄贈) 小田 勝良
7632 -20	染付菜文碗	1	中国・景德鎮窯	昭和初期(戦前)	11.6	6.0	5.1	(寄贈) 小田 勝良
7633 -20	染付鶴鳳凰文碗(ゴム版染付)	1	中国	昭和初期(戦前)	11.7	5.8	5.1	(寄贈) 小田 勝良
7634 -20	染付鳳凰文碗(ゴム版染付)	1	中国	昭和初期(戦前)	11.7	5.6	4.6	(寄贈) 小田 勝良
7635 -20	染付鳳凰文碗(ゴム版染付)	1	中国	昭和初期(戦前)	12.1	5.1	4.5	(寄贈) 小田 勝良
7636 -20	色絵草花文碗(転写)	1	中国	昭和初期(戦前)	12.1	4.9	5.4	(寄贈) 小田 勝良
7637 -20	染付蝙蝠雲文碗(ゴム版染付)	1	中国・景德鎮窯	昭和初期(戦前)	11.6	6.0	4.9	(寄贈) 小田 勝良
7723 -20	色絵丸文碗	2	中国	19世紀	10.2	6.2	4.2	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7798 -20	青磁算木文双耳花瓶	1	中国	19世紀	9.2	30.3	10.0	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7821 -20	朱泥緑釉雷文碗	3	中国・宜興窯	19世紀後半	7.5	5.8	4.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7822 -20	染付山水文茶碗	1	中国・景德鎮窯	19世紀後半	11.6	6.1	5.6	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7823 -20	紫泥種実文急須	1	中国・宜興窯	19世紀後半	4.3/17.1	11.3	脚間9.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
7824 -20	朱泥字句文急須	1	中国・宜興窯	19世紀	6.7/15.9	9.0/10.1	9.4	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[190.朝鮮の陶磁器]								
7442 -20	染付蝙蝠栴檀文鉢	1	朝鮮	18世紀末～19世紀	15.9	9.8	9.7	(寄贈) 千住 雅博
7443 -20	染付草文八角小壺	1	朝鮮	19世紀	5.8/9.0(胴)	6.7	5.4	(寄贈) 千住 雅博
[210.ヨーロッパの陶磁器]								
7825 -20	褐釉濾過器	1	イギリス・ロイヤル・ドルトン社	19世紀後半	27.5/29.0	38.8/48.0	25.1	(寄贈) 岩永 勢都子ほか
[230.現代作家 佐賀県 1]								
7415 -20	四方襷文彩色象嵌面取花生	1	中尾恭純 佐賀県(1950～)	平成20年(2008)	24.0	48.3	13.0	(寄贈) 中尾 恭純
7417 -20	白嶺	1	藤井朱明 佐賀県(1936～)	平成12年(2000)	31.3	42.6	11.5	(寄贈) 藤井 朱明
7418 -20	方盤	1	県 有 佐賀県(1906～1993)	昭和42年(1967)頃	27.5×27.7	3.2	24.0×24.2	(寄贈) 藤井 朱明
7419 -20	色絵くす玉文大皿	1	秀 幸治 佐賀県(1912～1992)	昭和26年(1951)	45.9	5.8	26.2	(寄贈) 藤井 朱明
7478 -20	「流響」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和42年(1967)	38.2×36.2	24.0	13.5	(寄贈) 青木 清高
7479 -20	「容映」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和57年(1982)	29.2/35.2	32.5	14.6	(寄贈) 青木 清高
7480 -20	「豊唱」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成元年(1989)	37.7×38.7	30.0	15.5	(寄贈) 青木 清高
7481 -20	天目「悠」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成3年(1991)	39.0×39.0	32.0	15.0	(寄贈) 青木 清高
7482 -20	「容延」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成8年(1996)	31.5	29.0	18.9	(寄贈) 青木 清高
7483 -20	「條韻」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成11年(1999)	30.6×29.0	28.5	14.5	(寄贈) 青木 清高

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7484 -20 「青韻譜」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成12年(2000)	23.0	32.0	12.4	(寄贈)青木 清高
7485 -20 「苑舞」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成13年(2001)	18.0	42.8	11.3	(寄贈)青木 清高
7486 -20 「燦」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成15年(2003)	40.0/43.5	17.8	19.3	(寄贈)青木 清高
7487 -20 「遊」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成17年(2005)	53.5	14.5	15.5	(寄贈)青木 清高
7488 -20 鉄砂染抜き「苑」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成17年(2005)	41.4	15.0	17.4	(寄贈)青木 清高
7489 -20 「想苑」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成18年(2006)	24.2	26.8	14.0	(寄贈)青木 清高
7490 -20 「天空への舞」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成19年(2007)	22.5	32.7	14.9	(寄贈)青木 清高
7491 -20 染錦「春の詩」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和37年(1962)	23.3	31.0	20.7	(寄贈)青木 清高
7492 -20 「波濤II」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和44年(1969)	38.5×35.2	32.5	14.0	(寄贈)青木 清高
7493 -20 「波濤」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和45年(1970)	26.3×26.0	37.2	16.8	(寄贈)青木 清高
7494 -20 連作「容」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和57年(1982)	30.0×31.5	23.8	19.1	(寄贈)青木 清高
7495 -20 「豊映」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和59年(1984)	31.8	32.0	13.5	(寄贈)青木 清高
7496 -20 「豊宴」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和60年(1985)	33.8	29.6	14.9	(寄贈)青木 清高
7497 -20 「響」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成4年(1992)	34.8	28.4	14.5	(寄贈)青木 清高
7498 -20 釉彩「向日葵」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成7年(1995)	31.2	27.1	14.6	(寄贈)青木 清高
7499 -20 「海鳴り」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成8年(1996)	26.0	32.5	15.0	(寄贈)青木 清高
7500 -20 「容韻」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成9年(1997)	20.6/21.8	31.4	12.6	(寄贈)青木 清高
7501 -20 「想苑」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成10年(1998)	30.0×28.2	30.7	12.8	(寄贈)青木 清高
7502 -20 「韻II」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成11年(1999)	29.6	27.5	16.1	(寄贈)青木 清高
7503 -20 「韻」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成13年(2001)	23.0	30.0	12.2	(寄贈)青木 清高
7504 -20 「苑」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成14年(2002)	32.8/35.0	25.8	16.3	(寄贈)青木 清高
7505 -20 「燃」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成15年(2003)	36.7/39.0	20.0	18.2	(寄贈)青木 清高
7506 -20 天目染付「忍冬」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成16年(2004)	40.0/41.6	15.8	18.5	(寄贈)青木 清高
7507 -20 「愁」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成18年(2006)	28.5	22.5	14.7	(寄贈)青木 清高
7508 -20 「愁想」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成19年(2007)	22.0×35.8/41.2	36.0	16.2	(寄贈)青木 清高
7509 -20 染付「郷愁壺」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和32年(1957)	10.8/40.8	48.4	21.0	(寄贈)青木 清高
7510 -20 染錦「赤群」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和34年(1959)	24.5/46.5	36.2	18.0	(寄贈)青木 清高
7511 -20 染錦「激浪」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和36年(1961)	28.0/35.0	51.5	20.0	(寄贈)青木 清高
7512 -20 染錦「激浪」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和36年(1961)	33.0/38.0	49.0	18.0	(寄贈)青木 清高
7513 -20 「蒼容」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和38年(1963)	10.0/46.5	36.0	33.5	(寄贈)青木 清高
7514 -20 天目「壺」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和38年(1963)頃	22.5/47.0	26.0	27.5	(寄贈)青木 清高
7515 -20 染付線彫鉢「跡」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和39年(1964)頃	42.5	12.5	13.0	(寄贈)青木 清高
7516 -20 染付線彫鉢「跡」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和39年(1964)頃	43.0	9.3	15.2	(寄贈)青木 清高
7517 -20 白磁線彫 花器		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和39年(1964)頃	36.5	22.5	10.3	(寄贈)青木 清高
7518 -20 白磁線彫 鉢		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和39年(1964)頃	45.0	16.5	11.2	(寄贈)青木 清高
7519 -20 染付刷毛目 壺		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和40年(1965)頃	12.0/37.0	34.2	18.5	(寄贈)青木 清高
7520 -20 染付線彫 壺		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和40年(1965)頃	11.0/39.6	27.4	11.5	(寄贈)青木 清高
7521 -20 染付線彫 壺		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和40年(1965)頃	34.5	25.0	10.5	(寄贈)青木 清高
7522 -20 彩胎土つけ土花器		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和40年(1965)頃	34.0	29.0	17.5	(寄贈)青木 清高
7523 -20 天目 花器		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和41年(1966)頃	22.5	36.5	21.5	(寄贈)青木 清高
7524 -20 「月と太陽」		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和46年(1971)頃	33.2	30.0	13.3	(寄贈)青木 清高
7525 -20 天目 花器		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和40年代(1965～74)	25.3×31.3	37.8	15.0	(寄贈)青木 清高
7526 -20 天目細口長花瓶		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和35年(1960)頃	6.0/14.2	91.0	16.0	(寄贈)青木 清高
7527 -20 天目 花器		1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和60年代(1985～94)	40.7×33.0	29.0	18.0	(寄贈)青木 清高

収蔵番号	資 料 名	点数	産 地	年 代	口 径	高 さ	底 径	備 考
7528 -20	天目 花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和60年代(1985～94)	30.5×37.5	31.5	15.5	(寄贈)青木 清高
7529 -20	天目 花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和60年代(1985～94)	30.0	30.0	15.2	(寄贈)青木 清高
7530 -20	天目 花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和60年代(1985～94)	28.5/32.1	24.7	16.5	(寄贈)青木 清高
7531 -20	呉須タタキ花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和60年代(1985～94)	31.5/33.0	22.0	13.5	(寄贈)青木 清高
7532 -20	呉須タタキ花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和60年代(1985～94)	27.1	31.9	15.5	(寄贈)青木 清高
7533 -20	天目染付線彫 花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成19年(2007)	28.1	23.2	15.2	(寄贈)青木 清高
7534 -20	天目釉彩 花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成19年(2007)	28.1×28.6	31.4	12.2	(寄贈)青木 清高
7535 -20	「想苑」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成18年(2006)	28.9	27.8	12.2	(寄贈)青木 清高
7536 -20	白磁 線 花器	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和39年(1964)	28.9	27.8	14.8	(寄贈)青木 清高
7537 -20	連作「胡沙の舞」	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成3年(1991)	35.0	34.5	14.7	(寄贈)青木 清高
7538 -20	天目釉彩紫陽花花瓶	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	平成18年(2006)	6.0	24.0	11.0	(寄贈)青木 清高
7581 -20	灰釉壺	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和30年代前半(1955～60)	8.5	22.5	10.5	(寄贈)小島 祥弘
7582 -20	辰砂鉄釉掛分瓶	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和30年代前半(1955～60)	3.7	24.8	7.5	(寄贈)小島 祥弘
7583 -20	鉄絵緑釉草文角瓶	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和30年代前半(1955～60)	3.4×3.6	20.0	6.8×6.2	(寄贈)小島 祥弘
7584 -20	鉄釉手付花入	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和30年代前半(1955～60)	3.2	29.8	9.0	(寄贈)小島 祥弘
7585 -20	辰砂鉄釉掛分小瓶	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和30年代前半(1955～60)	2.4	7.5	4.0	(寄贈)小島 祥弘
7586 -20	辰砂鉄釉掛分盃	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和30年代前半(1955～60)	6.1	4.3	4.0	(寄贈)小島 祥弘
7587 -20	塩釉呉須緑盃	1	青木龍山 佐賀県(1927～2007)	昭和30～40年代前半(1955～70)	6.1	4.7	3.8	(寄贈)小島 祥弘

[250.現代作家 長崎県]

7420 -20	染付山水祥瑞文大鉢	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	35.2	10.4	16.4	(寄贈)藤井 朱明
7421 -20	染付仙人唐草文水指	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	11.3/20.0(胴)	12.8/13.6(蓋)	9.8	(寄贈)藤井 朱明
7422 -20	釉裏紅山水文水指	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	13.6/16.6(胴)	15.5/18.3(蓋)	9.2	(寄贈)藤井 朱明
7423 -20	釉裏紅山水唐草文水指	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	9.9/17.8(胴)	22.0/23.2(蓋)	12.8	(寄贈)藤井 朱明
7424 -20	染付牛人物文壺	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	10.2/22.4(胴)	28.2	12.7	(寄贈)藤井 朱明
7425 -20	染付孔雀文花瓶	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	3.5/8.5(胴)	33.1	6.1	(寄贈)藤井 朱明
7426 -20	染付竹文茶入	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	2.5/5.8(胴)	8.3/9.0(蓋)	4.2	(寄贈)藤井 朱明
7427 -20	染付猿兎文茶入	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	2.6/6.5(胴)	7.6/8.0(蓋)	3.3	(寄贈)藤井 朱明
7428 -20	釉裏紅唐子文茶入	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	2.2/7.2(胴)	8.9/9.3(蓋)	4.7	(寄贈)藤井 朱明
7429 -20	染付山水文茶入	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	2.3/7.0(胴)	7.6/8.2(蓋)	3.0	(寄贈)藤井 朱明
7430 -20	釉裏紅牡丹鳥文香合	1	藤井邦幸 長崎県(1928～)	昭和～平成2年頃	7.5	3.0	4.4	(寄贈)藤井 朱明

[320.現代作家 九州以外]

7539 -20	暁雲長頸花瓶	1	吉賀大眉 山口県(1915～1991)	昭和～平成	4.3	24.6	9.8	(寄贈)青木 清高
7540 -20	萩焼茶碗	1	吉賀将夫 山口県(1943～)	平成	14.2	9.4	5.7	(寄贈)青木 清高
7541 -20	縄文花瓶「黎明」	1	西本瑛泉 広島県(1928～)	平成	17.7	28.2	12.6	(寄贈)青木 清高
7542 -20	三島手鉢	1	西本瑛泉 広島県(1928～)	平成	29.0	5.8	16.5	(寄贈)青木 清高
7543 -20	刻磁彩「葉の調べ」	1	3代浅藏五十吉 石川県(1941～)	平成	20.2	23.6	16.2	(寄贈)青木 清高
7544 -20	刻磁彩「実る」	5	3代浅藏五十吉 石川県(1941～)	平成	17.2×18.2	3.1	8.5	(寄贈)青木 清高
7545 -20	金彩白釉兔香炉	1	10代大権長左衛門(年譜) 石川県(1927～)	平成19年(2007)頃	5.3/12.0×10.4	10.4	6.2×4.5	(寄贈)青木 清高
7546 -20	白紅毛鶴首花瓶	1	10代大権長左衛門(年譜) 石川県(1927～)	平成19年(2007)頃	2.6	24.5	5.5	(寄贈)青木 清高
7547 -20	豊穰	1	奥田小由女 東京都(1936～)	平成	ヨコ19.0×タテ14.0			(寄贈)青木 清高

資料件数一覧

分 類		年度	S53～H19計			H20			合 計					
			件 数			件 数			件 数			点 数		
			購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計	購入	寄贈	小計
近世の肥前陶磁	011.唐津系陶器		49	94	143		3	3	49	97	146	61	120	181
	021.初期伊万里様式		36	203	239		1	1	36	204	240	61	313	374
	030.古伊万里様式		278	4629	4907		21	21	278	4650	4928	500	11532	12032
	031.古伊万里・正保様式		51	162	213			0	51	162	213	103	263	366
	032.古伊万里・承応様式		8	273	281			0	8	273	281	20	444	464
	033.古伊万里・寛文様式		61	900	961		1	1	61	901	962	115	1690	1805
	034.古伊万里・延宝様式		37	792	829			0	37	792	829	58	1799	1857
	035.古伊万里・元禄様式		86	1278	1364		2	2	86	1280	1366	132	3220	3352
	036.古伊万里・宝暦様式		7	388	395			0	7	388	395	21	1505	1526
	037.古伊万里・天明様式		5	476	481			0	5	476	481	21	1442	1463
	038.古伊万里・文政様式		23	359	382		18	18	23	377	400	30	1168	1198
	041.柿右衛門様式		29	86	115			0	29	86	115	33	197	230
	051.鍋島藩窯様式		55	130	185		2	2	55	132	187	67	391	458
	小計		447	5141	5588	0	27	27	447	5168	5615	722	12552	13274
近世の九州陶磁（県外）	060.長崎の陶磁器		51	74	125			0	51	74	125	121	203	324
	070.福岡の陶磁器		39	49	88		1	1	39	50	89	43	55	98
	080.熊本の陶磁器		31	21	52			0	31	21	52	61	30	91
	090.大分の陶磁器		3	1	4			0	3	1	4	3	1	4
	100.宮崎の陶磁器		2	1	3			0	2	1	3	2	1	3
	110.鹿児島島の陶磁器		62	12	74		4	4	62	16	78	63	18	81
	120.沖縄の陶磁器		77	5	82			0	77	5	82	77	5	82
	小計		265	163	428	0	5	5	265	168	433	370	313	683
近世資料代	130.佐賀県 近代		36	436	472		237	237	36	673	709	58	1504	1562
	140.九州（県外）近代		8	59	67		5	5	8	64	72	9	213	222
	小計		44	495	539	0	242	242	44	737	781	67	1717	1784
九州以外	150.九州以外 近世		10	150	160		2	2	10	152	162	19	227	246
	160.九州以外 近代		4	89	93		15	15	4	104	108	4	187	191
	170.陶磁器関連資料（文書・図案など）		8	14	22		2	2	8	16	24	15	26	41
	小計		22	253	275	0	19	19	22	272	294	38	440	478
世界の陶磁器	180.中国の陶磁器		29	202	231		27	27	29	229	258	38	334	372
	190.朝鮮の陶磁器		0	83	83		2	2	0	85	85	0	86	86
	200.アジアの陶磁器		0	17	17			0	0	17	17	0	17	17
	210.ヨーロッパの陶磁器		39	26	65		1	1	39	27	66	40	63	103
	220.その他の世界の陶磁器		0	0	0			0	0	0	0	0	0	0
	小計		68	328	396	0	30	30	68	358	426	78	500	578
現代作家作品	230.佐賀県Ⅰ		48	30	78		72	72	48	102	150	48	107	155
	240.佐賀県Ⅱ松本佩山		0	74	74			0	0	74	74	0	99	99
	250.長崎県		3	0	3		11	11	3	11	14	3	11	14
	260.福岡県		4	8	12			0	4	8	12	4	8	12
	270.熊本県		2	0	2			0	2	0	2	2	0	2
	280.大分県		0	0	0			0	0	0	0	0	0	0
	290.宮崎県		0	0	0			0	0	0	0	0	0	0
	300.鹿児島県		2	1	3			0	2	1	3	2	1	3
	310.沖縄県		0	0	0			0	0	0	0	0	0	0
	320.九州以外		2	0	2		9	9	2	9	11	2	13	15
	330.国外		2	12	14			0	2	12	14	2	13	15
	小計		63	125	188	0	92	92	63	217	280	63	252	315
	合計		909	6505	7414	0	415	415	909	6920	7829	1338	15774	17112

佐賀県立九州陶磁文化館年報・資料目録

平成20年度 No.28

発 行 日 平成21年6月30日

編集・発行 佐賀県立九州陶磁文化館

〒844-8585

佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙3100-1

TEL 0955-43-3681 FAX 0955-43-3324

U R L : [http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/
kanko_bunka/k_shisetsu/kyuto/](http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/kanko_bunka/k_shisetsu/kyuto/)

E-mail : kyuto@pref.saga.lg.jp

制 作 山口印刷株式会社

